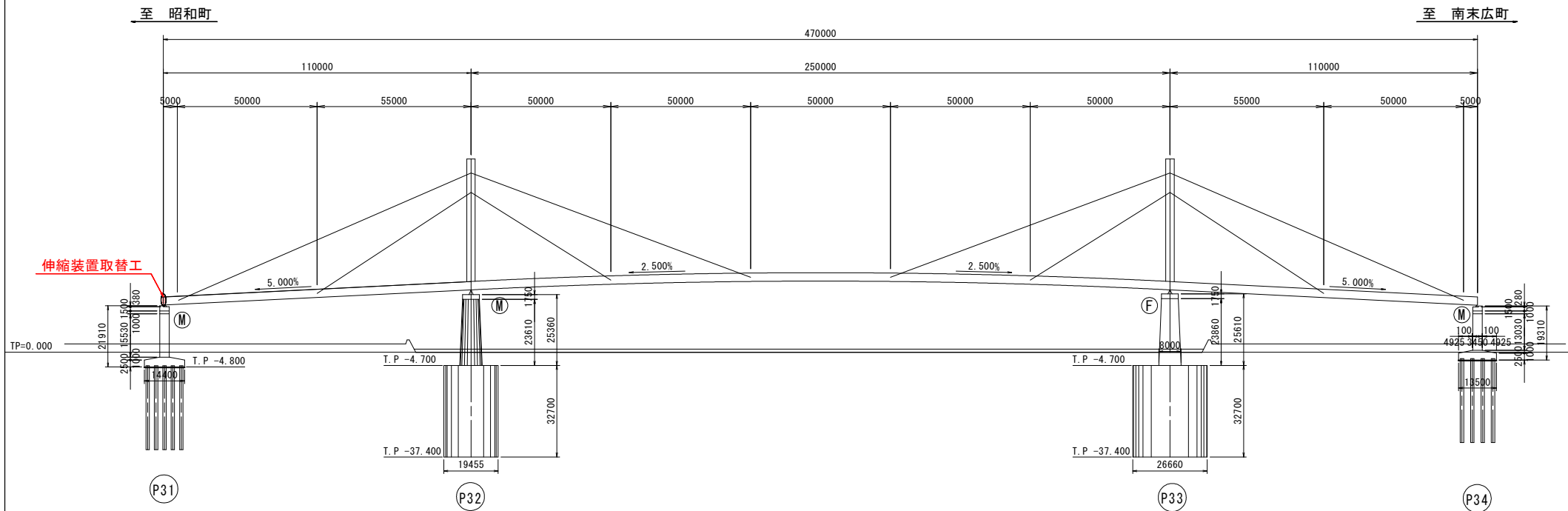


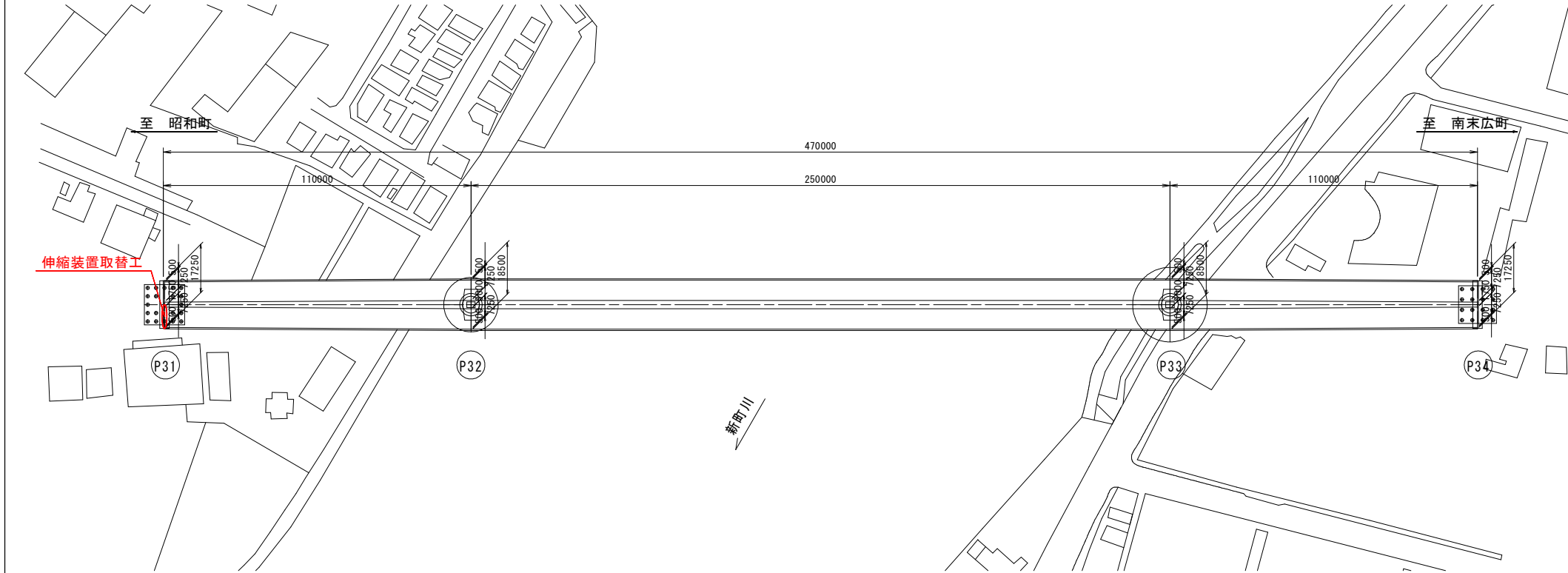
補修一般図 S=1:1000

側面図

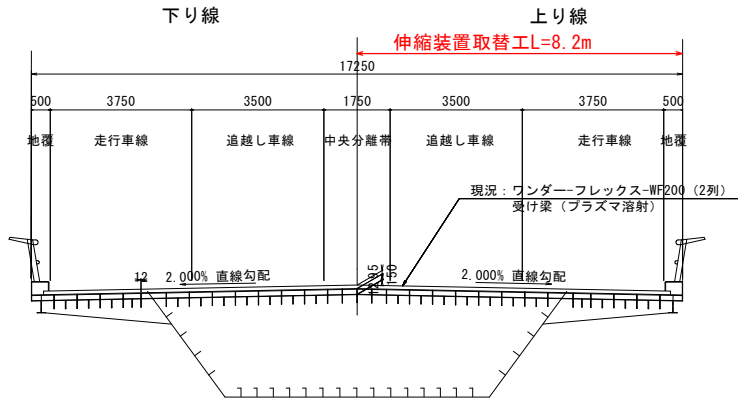


測 点	追 加 距 離	地 盤 高	計 画 高	勾 配
No. 72	-1440.000	0.000	19.800	i=5.000% 31.550 i=5.000%
No. 73	-1460.000	0.000	20.800	
No. 74	-1480.000	0.000	21.800	
No. 75	-1500.000	0.000	22.800	
No. 76	-1520.000	0.000	23.800	
No. 77	-1540.000	1.000	24.800	
+10.000	-1550.000	25.300	25.300	
No. 78	-1560.000	25.780	25.780	
No. 79	-1580.000	3.000	26.620	
No. 80	-1600.000	27.300	27.300	
No. 81	-1620.000	4.500	27.820	
No. 82	-1640.000	28.180	28.180	
No. 83	-1660.000	5.500	28.380	
+15.000	-1675.000	28.425	28.425	
No. 84	-1680.000	28.420	28.420	
No. 85	-1700.000	5.900	28.300	
No. 86	-1720.000	28.020	28.020	
No. 87	-1740.000	5.000	27.580	
No. 88	-1760.000	26.980	26.980	
No. 89	-1780.000	3.000	26.220	
No. 90	-1800.000	25.300	25.300	
No. 91	-1820.000	2.400	24.300	
No. 92	-1840.000	2.500	23.300	
No. 93	-1860.000	2.500	22.300	
No. 94	-1880.000	2.500	21.300	
No. 95	-1900.000	2.500	20.300	
+10.000	-1910.000	19.800	19.800	
No. 96	-1920.000	2.400	19.800	
No. 97	-1940.000	2.400	20.300	

平面図



断面図 S=1:100



【橋梁諸元】

項目	諸元
橋梁名称	末広大橋
所在地	(自)徳島県徳島市昭和町8丁目 (至)徳島県徳島市南末広町2丁目
路線名	主要地方道 徳島環状線
管轄	徳島県東部県土整備局〈徳島〉
橋長	470.000m (=110m+250m+110m)
径間数	3径間
幅員	全幅：17.25～18.50m、有効幅員：16.25～17.50mm 地覆0.5m+車道7.25m+車道7.25m+地覆0.5m
上部工形式	3径間連続鋼床版逆橋型箱桁斜張橋
下部工形式	T型橋脚柱角型(RC)2基、T型橋脚柱内型(RC)2基
基礎工形式	場所打杭
設計荷重	1等橋(TL-20)
適用示方書	1972年(昭和47年)道路橋示方書
架設年度	1976年(昭和51年5月)
交差物件	一級河川吉野川水系 新町川
緊急輸送路の指定	有
補修履歴 (点検履歴)	2008年：橋梁定期点検 2013年：橋梁定期点検 2014年：末広大橋橋面補修工事
伸縮装置	当初：トランスフレックス-No.230(2列)+受け梁 2008年：ワンダーフレックス-WF200(2列)+受け梁
使用材料	主桁 SMA50C, SMA50B, SMA50A, SMA41A, SM50B, SM41A, SS41 対傾構・横リブ ブラケット SMA41A, SS41 端隔板 SMA50C, SMA50B, SMA50A, SMA41A, SM50C, SM50B, SM41A, SS41 主塔 SMA50C, SMA50B, SMA50A, SMA41A, SM50C, SM50B, SM41A, SS41 支承 SMA50C, SMA50B, S30C, SC46, 銅合金, ScMn2A, SCW42 ※ 外気に触れる部分は耐蝕性鋼材 ケーブル パラレルワイヤーストランドφ242mm(7+PWS169, 6+PWS127)

【補修内容】

項目	内容
伸縮装置取替工	伸縮量310mm

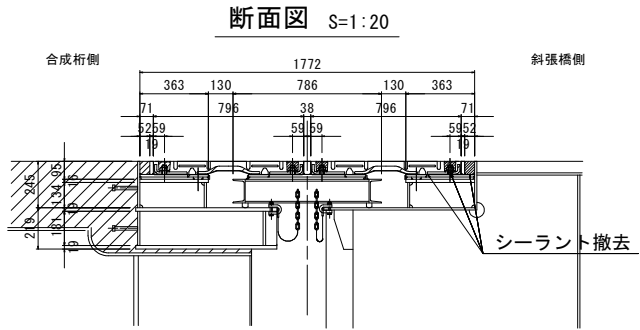
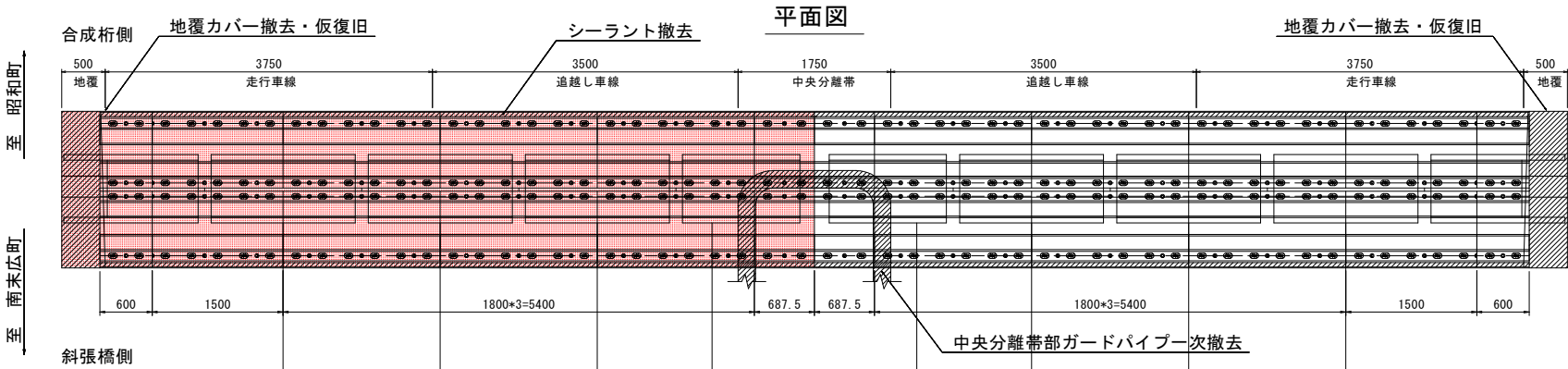
実施設計図面

工事名	R2徳土 徳島環状線 徳・昭和 橋梁修繕工事(2)		
路線名等	徳島環状線		
工事箇所	徳島市昭和町8丁目(末広大橋)(第2分割)		
図面名	補修一般図		
縮尺	1:1000	図面番号	01 / 12
事業者名	徳島県東部県土整備局 徳島庁舎		

※伸縮装置平面図は、過去成果に統一し終点から起点をみた図としている。

施工要領図 S=1:40

STEP1 準備工



STEP1 準備工

・施工をスムーズに行うため、あらかじめ障害となる物の撤去を行う。

施工日数：各車線1日+地覆部1日（合計3日）
交通規制：昼間片側一車線規制
施工対象：伸縮装置シーラント充填部、地覆-中央分離帯
使用重機：4tユニック（伸縮装置撤去復旧）、2tトラック（資材運搬）

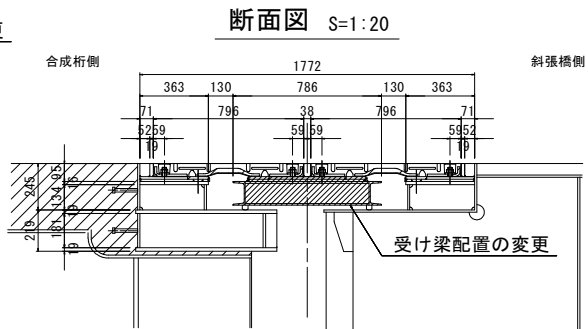
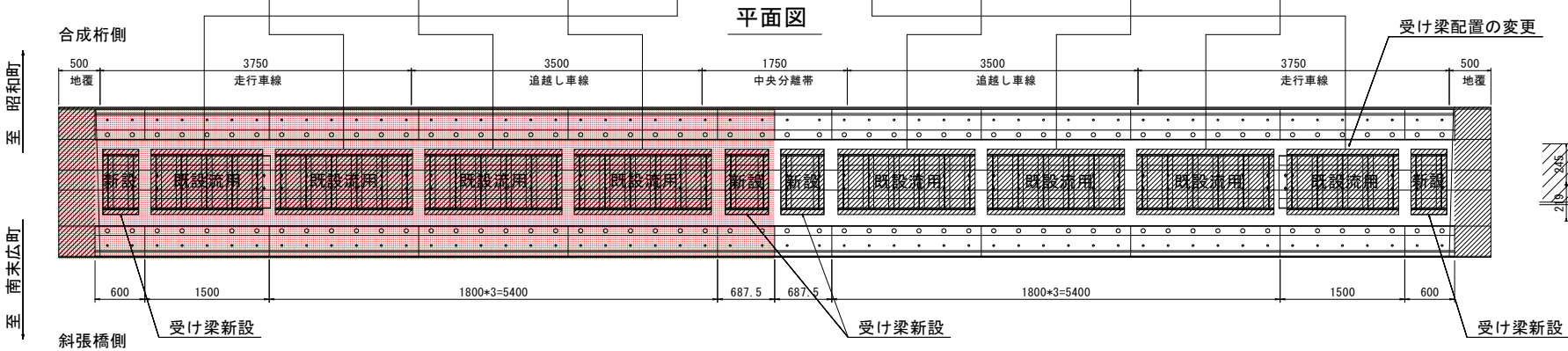
シーラント撤去

1. 中央分離帯部のガードパイプを一次撤去する。（追越し車線のみ）
2. 規制区間の伸縮装置を一次撤去する。
3. 受台と伸縮装置の間に充填されたシーラントを撤去する。
4. 追開調整のために充填されているシーラントを撤去する。
5. 一次撤去していた伸縮装置を復旧する。（シーラントは充填しない。）

地覆・防護柵撤去

1. 地覆カバー及び地覆下面の受け梁を撤去出来るように伸縮装置を撤去する。
2. 伸縮装置部の防護柵を一次撤去する。
3. 地覆カバーを一次撤去する。
4. 単管パイプ等で防護柵撤去部を仮復旧する。
5. 地覆部は新たに製作した地覆カバー（仮設・本設兼用）で仮復旧する。
6. 一次撤去していた伸縮装置を復旧する。（シーラントは充填しない。）

STEP2 受け梁取替工



STEP2 受け梁取替工

・今後の工事を、片側一車線規制で行うために、受け梁と伸縮装置が交互に配置された割り付けから受け梁と伸縮装置の配置を合わせた割り付けに変更する。

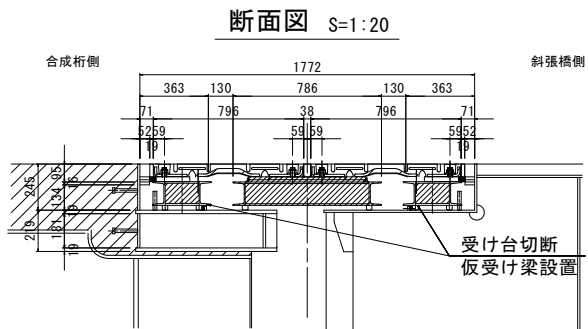
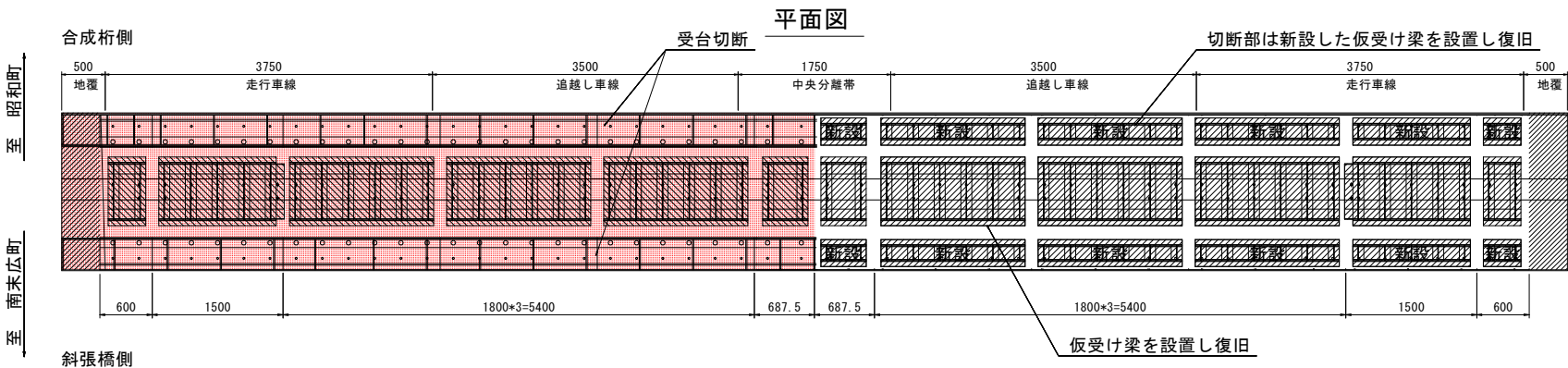
施工日数：1日
交通規制：夜間全面通行止
施工対象：追越し車線と走行車線を跨る受け梁
使用重機：4tユニック（伸縮装置撤去復旧）、2tトラック（資材運搬）

1. 規制区間の伸縮装置を一次撤去する。
2. 既設受け梁を移動する。
3. 割り付け上、既設の流用が出来ない箇所は、新設した受け梁を設置する。
4. 一次撤去していた伸縮装置を復旧する。（シーラントは充填しない。）

・高さ調整のためのゴム板を用意しておく必要がある。

・中央分離帯部から端部へ移動させる受け梁についてはボルト位置が異なるためボルトの取替が必要となる。

STEP3 受け台切断工



STEP3 受け台切断工

・現況の切欠き幅では、フィンガージョイントを設置出来ないため、既設受け台の撤去を行う。

・切断は伸縮装置ブロック毎に行う計画としているが、現場で適宜調整すること。

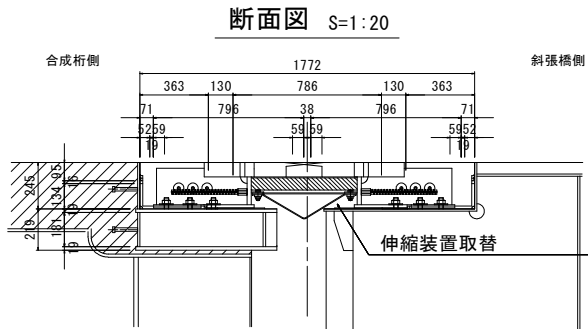
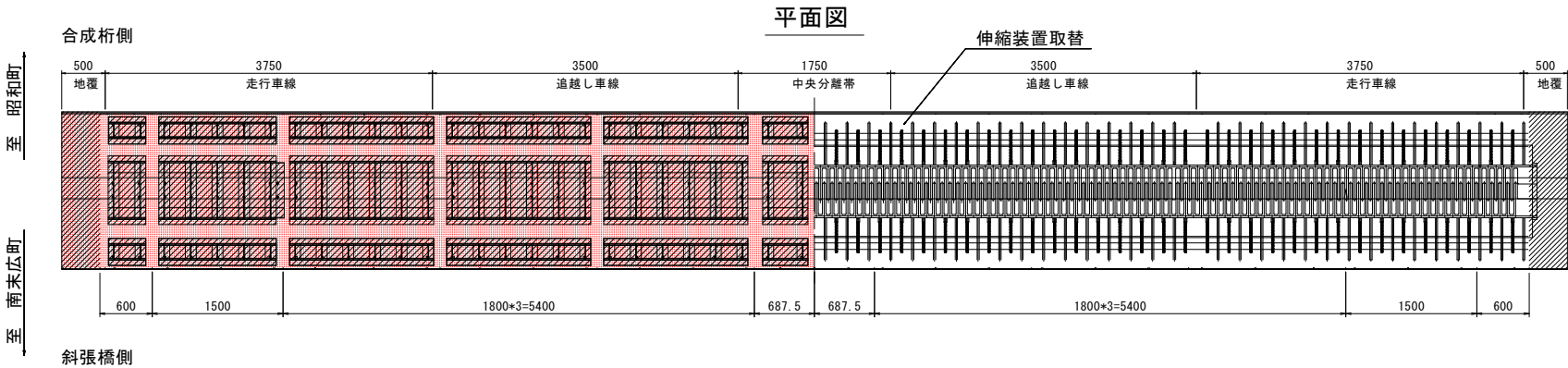
・切断部の処理や新設伸縮装置切断のための下地処理は、切断が完了した箇所から適宜行うものとする。

・地覆部の型枠設置や配筋等は切断作業と並行して行うものとする。

施工日数：各車線3日（合計6日）
交通規制：昼間片側一車線規制
施工対象：受け台
使用重機：4tユニック（伸縮装置撤去復旧）、2tトラック（資材運搬）
ガス切断機

1. 受け梁を撤去出来るように伸縮装置を一次撤去する。
2. 斜張橋側及び合成桁側の受け台をガス切断機で切断する。
3. 仮受け梁固定用のボルトを溶接する。
4. 既設受け台を切断した箇所については、仮受け梁を設置し復旧する。
5. 一次撤去していた伸縮装置を復旧する。（シーラントは充填しない。）

STEP4 伸縮装置設置工



STEP4 伸縮装置設置工

・各車線毎にフィンガージョイントを設置する。

施工日数：各車線1日（合計2日）
交通規制：昼間片側一車線規制
施工対象：伸縮装置
使用重機：4tユニック（伸縮装置撤去復旧）、2tトラック（資材運搬）
ジェットモーター車

1. 仮受け梁撤去後、清掃
2. スタッド設置、不陸調整
3. 伸縮装置設置後、ジェットコン打設（地覆も同時に施工）

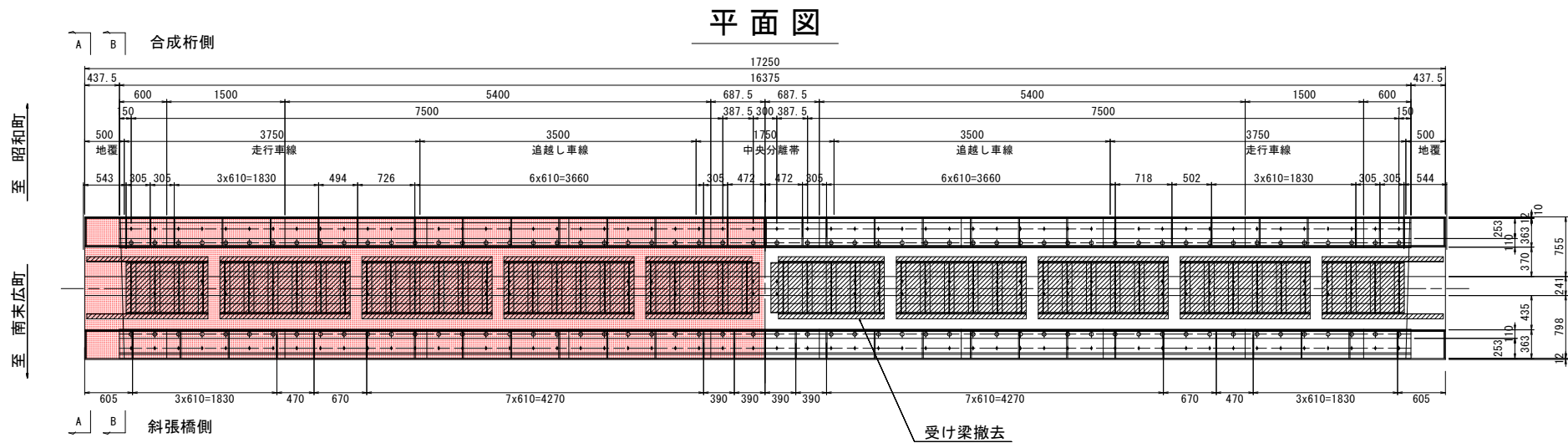
実施設計図面

工事名	R2徳士 徳島環状線 徳・昭和 橋梁修繕工事(2)		
路線名等	徳島環状線		
工事箇所	徳島市昭和町8丁目(末広大橋) (第2分割)		
図面名	施工要領図		
縮尺	1:40	図面番号	02 / 12
事業者名	徳島県東部県土整備局 徳島庁舎		

※北行き・南行きでそれぞれSTEP1～4を実施する計画であり、作業日数は片側のみを記載している。
※仮受け梁は先に工事した側で製作したものが使用出来る場合は、流用する。

※伸縮装置平面図は、過去成果に統一し終点から起点をみた図としている。

撤去計画図（その1） S=1:40



撤去部材 (受け梁)

4-H 125 x 125 x 6.5 x 9 X 656 (SS400)
2-[125 x 65 x 6 x 8 X 1539 (SS400)
8-PL 25 x 22 x 30 (SM400A)
1-PL 69 x 38 x 1200 (SM400A)
1-PL 402 x 14 x 1040 (SM400A)
1-PL 622 x 12 x 1040 (SM400A)
2-PL 20 x 6 x 1040 (SM400A)
8-スタッドボルト M22 x 50
4-チェーン L = 300 mm
4-ジャックル

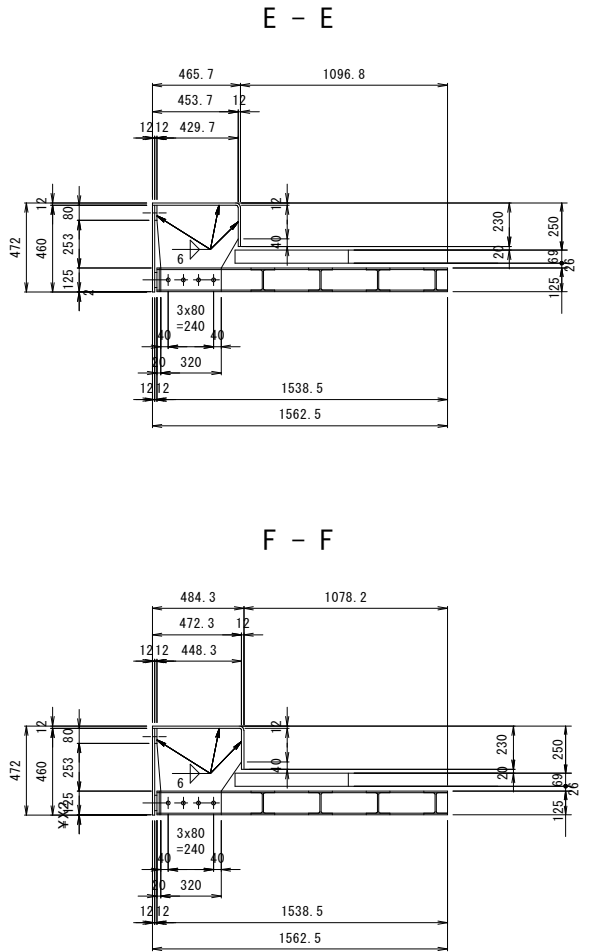
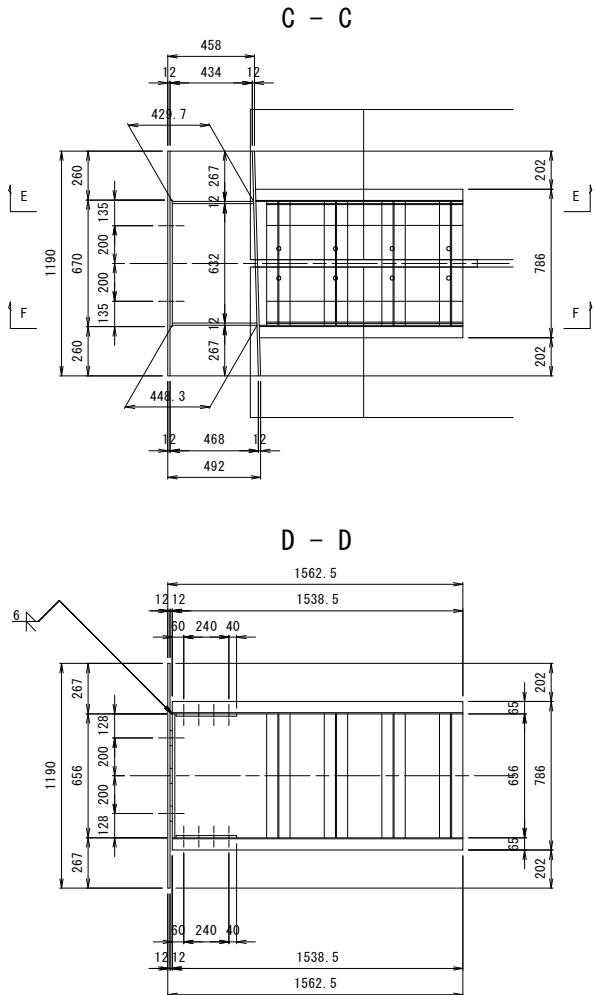
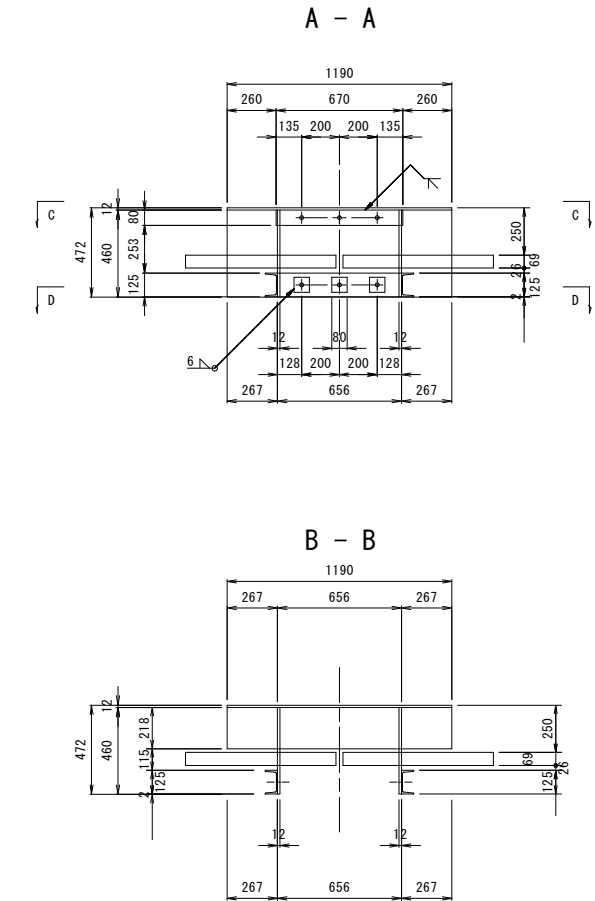
18-H 125 x 125 x 6.5 x 9 X 656 (SS400)
6-[125 x 65 x 6 x 8 X 1650 (SS400)
36-PL 25 x 22 x 30 (SM400A)
3-PL 69 x 38 x 1800 (SM400A)
3-PL 402 x 14 x 1650 (SM400A)
3-PL 622 x 12 x 1650 (SM400A)
6-PL 20 x 6 x 1650 (SM400A)
36-スタッドボルト M22 x 50
12-チェーン L = 300 mm
12-ジャックル

10-H 125 x 125 x 6.5 x 9 X 656 (SS400)
4-[125 x 65 x 6 x 8 X 1345 (SS400)
20-PL 25 x 22 x 30 (SM400A)
2-PL 69 x 38 x 1588 (SM400A)
2-PL 402 x 14 x 1438 (SM400A)
2-PL 622 x 12 x 1438 (SM400A)
6-PL 20 x 6 x 1438 (SM400A)
20-スタッドボルト M22 x 50
8-チェーン L = 300 mm
8-ジャックル

18-H 125 x 125 x 6.5 x 9 X 656 (SS400)
6-[125 x 65 x 6 x 8 X 1650 (SS400)
36-PL 25 x 22 x 30 (SM400A)
3-PL 69 x 38 x 1800 (SM400A)
3-PL 402 x 14 x 1650 (SM400A)
3-PL 622 x 12 x 1650 (SM400A)
6-PL 20 x 6 x 1650 (SM400A)
36-スタッドボルト M22 x 50
12-チェーン L = 300 mm
12-ジャックル

4-H 125 x 125 x 6.5 x 9 X 656 (SS400)
2-[125 x 65 x 6 x 8 X 1539 (SS400)
8-PL 25 x 22 x 30 (SM400A)
1-PL 69 x 38 x 1200 (SM400A)
1-PL 402 x 14 x 1040 (SM400A)
1-PL 622 x 12 x 1040 (SM400A)
2-PL 20 x 6 x 1040 (SM400A)
8-スタッドボルト M22 x 50
4-チェーン L = 300 mm
4-ジャックル

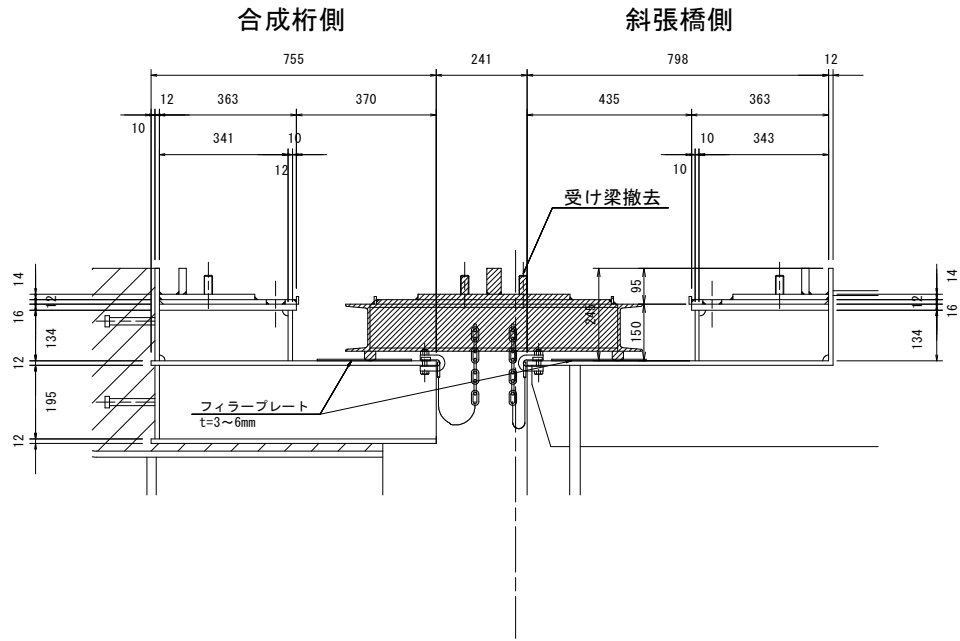
地覆詳細図 S=1:20



撤去部材 (地覆)

2-PL 125 x 12 x 656 (SM400A)
6-PL 80 x 12 x 80 (SM400A)
2-PL 702 x 12 x 1190 (SM400A)
2-PL 80 x 12 x 670 (SM400A)
2-PL 430 x 12 x 458 (SM400A)
2-PL 448 x 12 x 458 (SM400A)
2-PL 460 x 12 x 1190 (SM400A)
16-BN M20 x 45 (1-W付き SS400)
6-BN M20 x 55 (1-W付き SS400)
6-BN M20 x 65 (1-W付き SS400)

側面図 S=1:10



※受け台の切断に併せて受け梁を撤去し、小割りにした仮受け梁を設置し復旧する計画としている。
※切断部の処理や新設伸縮装置設置のための下地処理は、切断が完了した箇所から適宜行うものとする。
※仮復旧時は既設の受け梁が流用出来る箇所については基本的に流用するものとし、割り付け上流用が出来ない箇所については新設する。

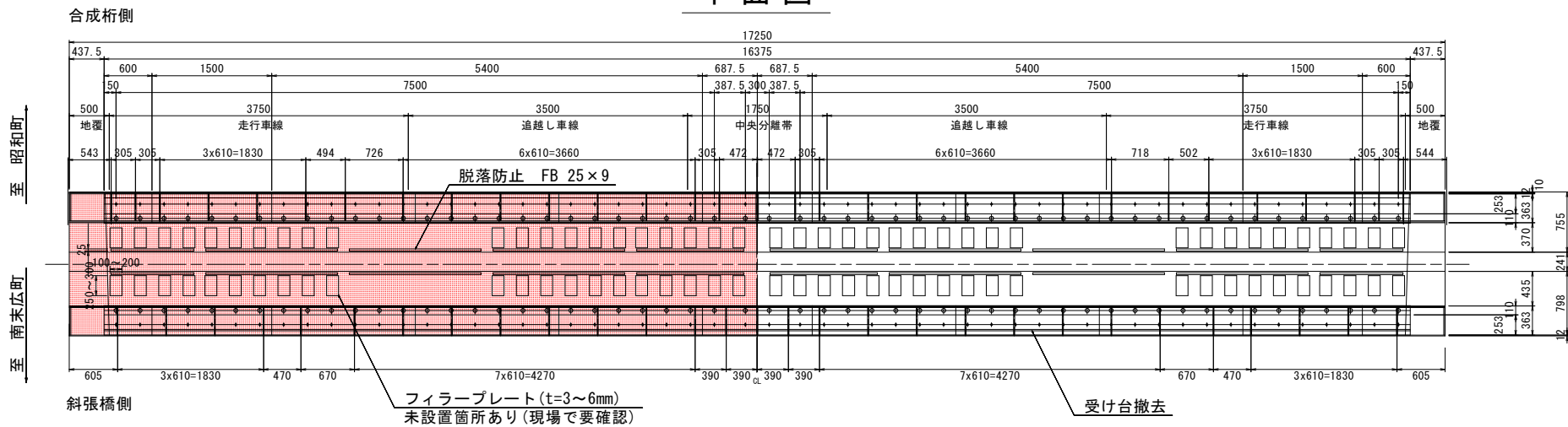
実施設計図面

工事名	R2徳士 徳島環状線 徳・昭和 橋梁修繕工事(2)		
路線名等	徳島環状線		
工事箇所	徳島市昭和町8丁目(末広大橋) (第2分割)		
図面名	撤去計画図(その1)		
縮尺	1:40	図面番号	03 / 12
事業者名	徳島県東部県土整備局 徳島庁舎		

※伸縮装置平面図は、過去成果に統一し終点から起点をみた図としている。

撤去計画図（その2） S=1:40

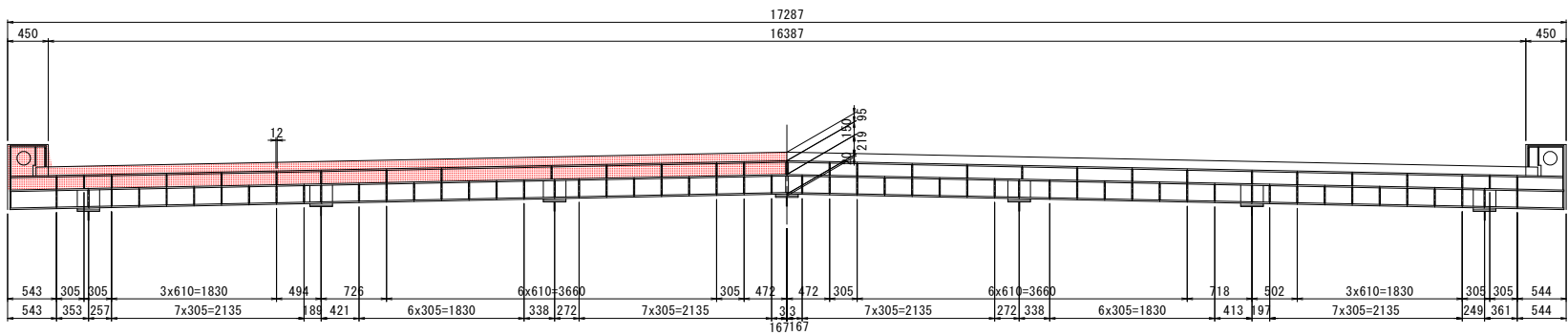
平面図



撤去部材 (受け台)						
2-PL 69 x 19 x 600 (SM400A)	2-PL 69 x 19 x 1500 (SM400A)	6-PL 69 x 19 x 1800 (SM400A)	4-PL 69 x 19 x 688 (SM400A)	6-PL 69 x 19 x 1800 (SM400A)	2-PL 69 x 19 x 1500 (SM400A)	2-PL 69 x 19 x 600 (SM400A)
2-PL 253 x 14 x 600 (SM400A)	2-PL 253 x 14 x 1500 (SM400A)	6-PL 253 x 14 x 1800 (SM400A)	4-PL 253 x 14 x 688 (SM400A)	6-PL 253 x 14 x 1800 (SM400A)	2-PL 253 x 14 x 1500 (SM400A)	2-PL 253 x 14 x 600 (SM400A)
2-PL 363 x 12 x 600 (SM400A)	2-PL 363 x 12 x 1500 (SM400A)	6-PL 363 x 12 x 1800 (SM400A)	4-PL 363 x 12 x 688 (SM400A)	6-PL 363 x 12 x 1800 (SM400A)	2-PL 363 x 12 x 1500 (SM400A)	2-PL 363 x 12 x 600 (SM400A)
2-PL 20 x 6 x 600 (SM400A)	2-PL 20 x 6 x 1500 (SM400A)	6-PL 20 x 6 x 1800 (SM400A)	4-PL 20 x 6 x 688 (SM400A)	6-PL 20 x 6 x 1800 (SM400A)	2-PL 20 x 6 x 1500 (SM400A)	2-PL 20 x 6 x 600 (SM400A)
4-スタッドボルト M22 x 50	10-スタッドボルト M22 x 50	36-スタッドボルト M22 x 50	8-スタッドボルト M22 x 50	36-スタッドボルト M22 x 50	10-スタッドボルト M22 x 50	4-スタッドボルト M22 x 50

断面図

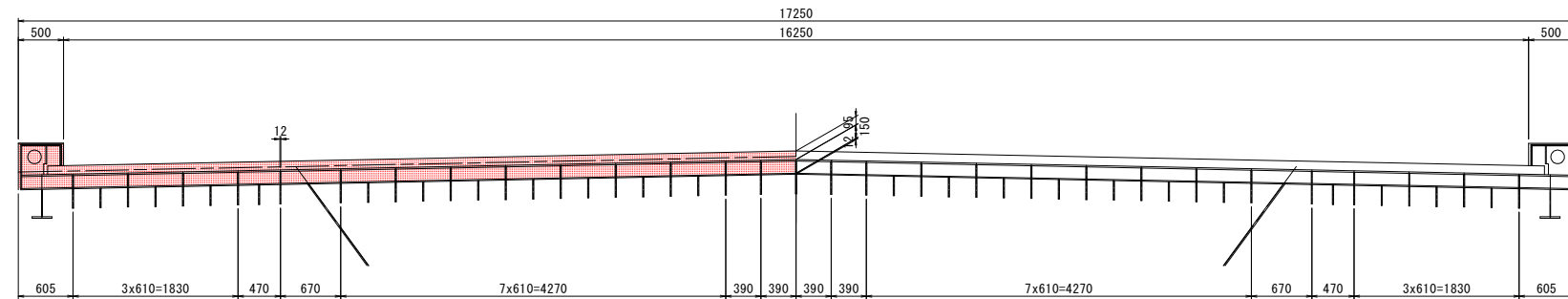
合成桁側



撤去部材 (受け台)	
1-FLG PL 363 x 16 x 8605 (SMA41A)	
1-WEB PL 134 x 12 x 8619 (SMA41A)	

撤去部材 (地覆)	
2-PL 880 x 12 x 421 (SMA41A)	
2-PL 215 x 12 x 421 (SMA41A)	
2-RIB PL 306 x 12 x 328 (SMA41A)	
2-PL 200 x 12 x 421 (SM400A)	

斜張橋側

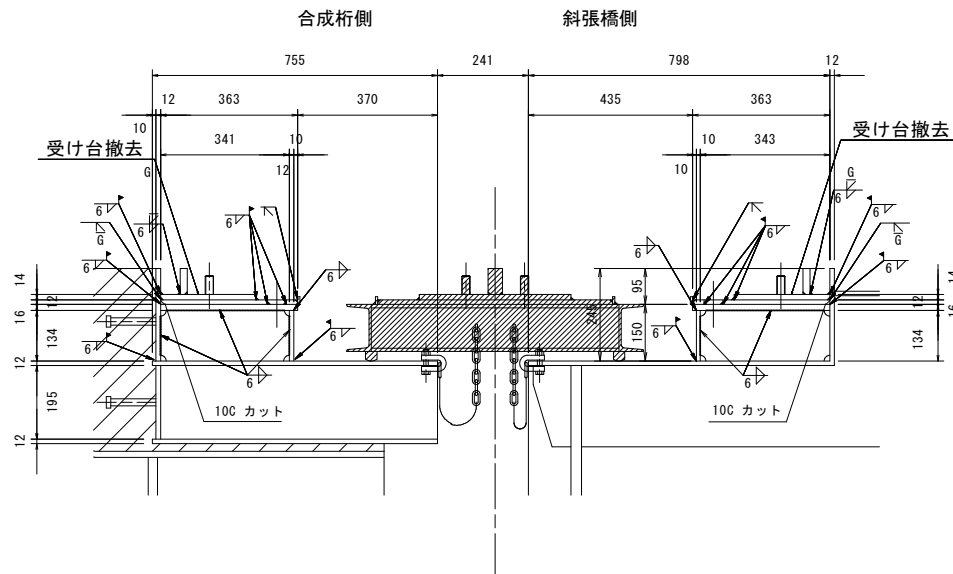


撤去部材 (受け台)			
1-FLG PL 363 x 16 x 5907 (SMA41A)	1-FLG PL 363 x 16 x 5401 (SMA41A)	1-FLG PL 363 x 16 x 5907 (SMA41A)	
1-WEB PL 134 x 12 x 5810 (SMA41A)	1-WEB PL 134 x 12 x 5600 (SMA41A)	1-WEB PL 134 x 12 x 5810 (SMA41A)	
		29-RIB PL 134 x 12 x 341 (SMA41A)	

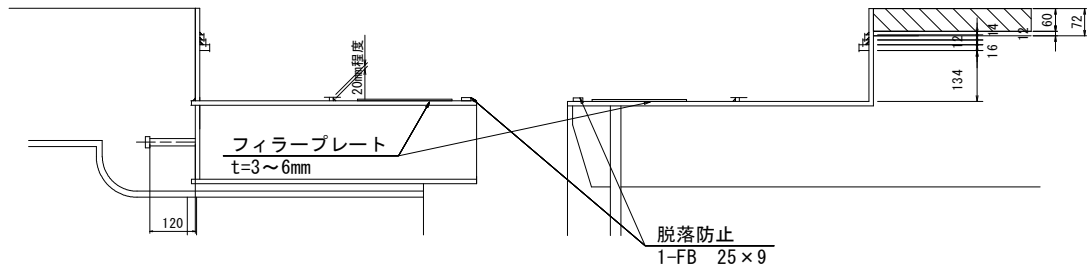
撤去部材 (地覆)	
2-PL 920 x 12 x 421 (SMA41A)	
2-PL 215 x 12 x 421 (SMA41A)	
2-RIB PL 276 x 12 x 327 (SMA41A)	
2-PL 200 x 12 x 421 (SM400A)	

側面図 S=1:10

撤去前



撤去後



※現況の切欠き幅では、フィンガージョイントを設置出来ないため、既設受台の撤去を行う。
※切断の際には、鋼床版等の既設部材影響が無いよう留意すること。
※切断は伸縮装置ブロック毎に行う計画としているが、現場で適宜調整すること。
※切断部の処理や新設伸縮装置設置のための下地処理は、切断が完了した箇所から適宜行うものとする。
※撤去した面はケレンやグラインダーにて仕上げる。
※3枚の鋼材が重なっており、一度のガス切断でまとめて切断することは困難であると想定されるため、1枚ごとに切断・撤去を行う計画とする。

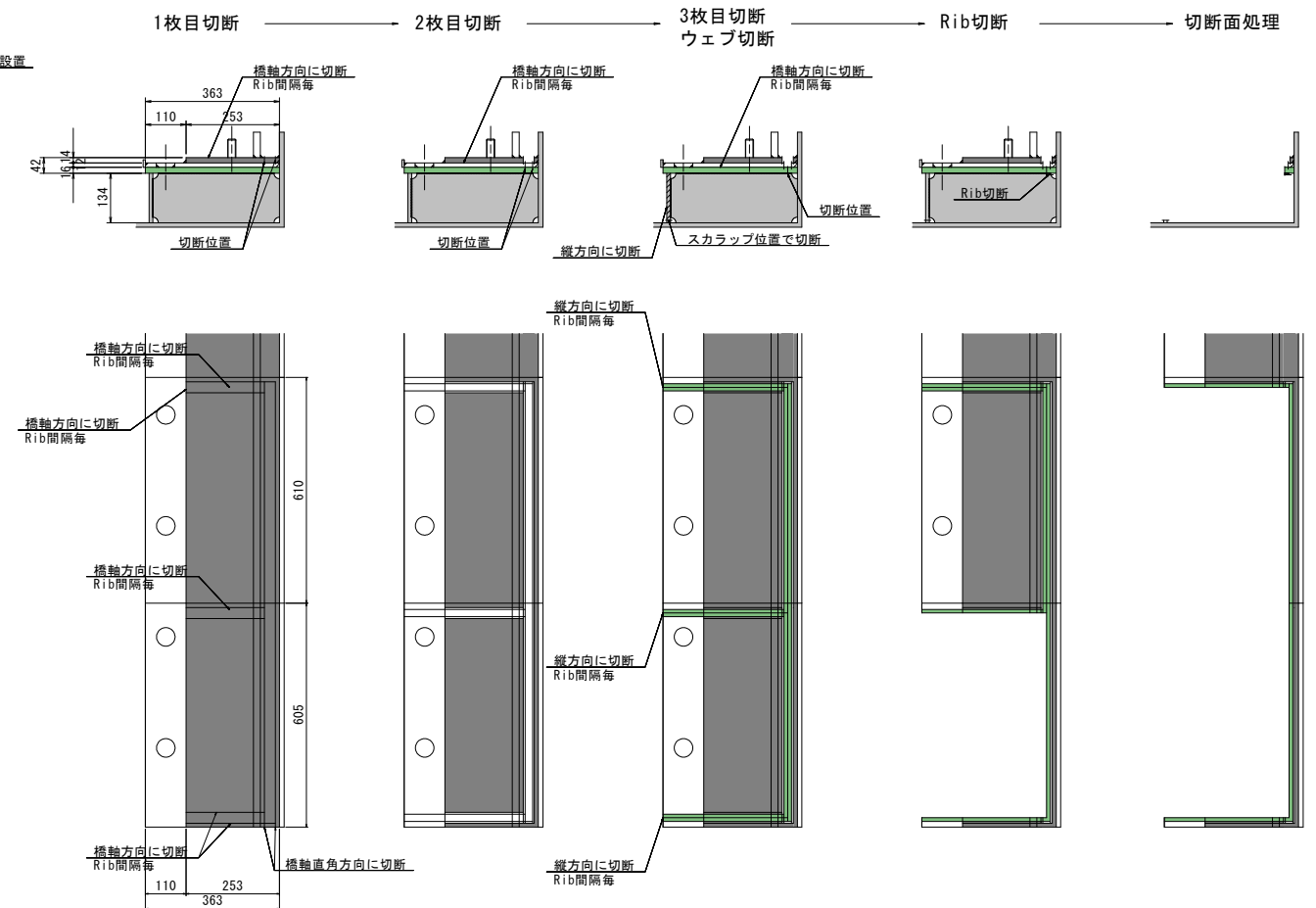
実施設計図面

工事名	R2徳士 徳島環状線 徳・昭和 橋梁修繕工事 (2)		
路線名等	徳島環状線		
工事箇所	徳島市昭和町8丁目 (末広大橋) (第2分割)		
図面名	撤去計画図 (その2)		
縮尺	1:40	図面番号	04 / 12
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局 徳島庁舎		

撤去計画図(その3) S=1:50

受け台切断詳細図 S=1:10

※一度のガス切断で3枚の鋼材をまとめて切断することは困難であると想定されるため、1枚ごとに切断・撤去を行う計画とする。



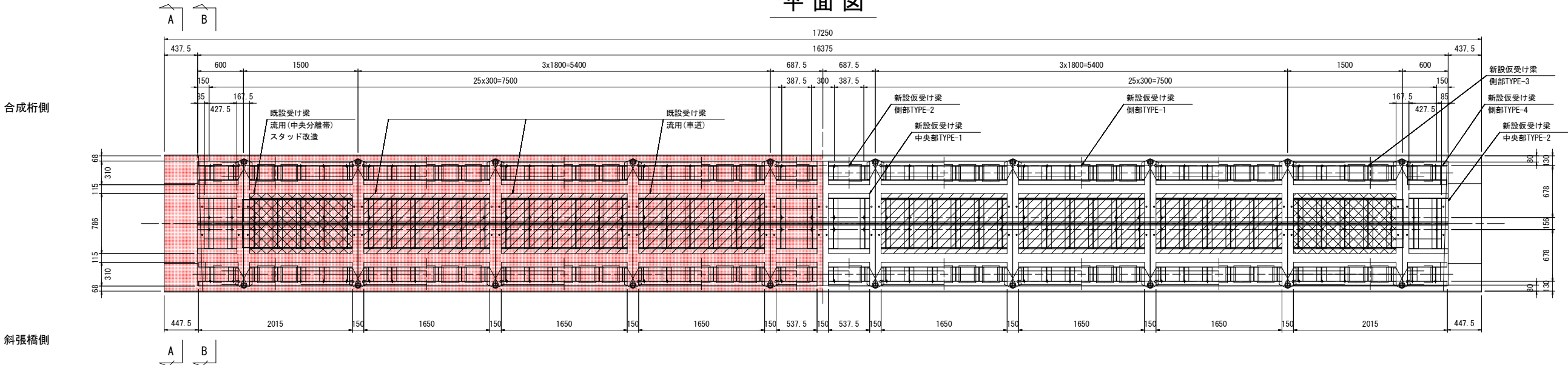
Technical drawings of the R2 bus stop shelter. The top drawing is a side elevation showing two shelter units with dimensions: width 421, height 250, and various internal clearances. It includes labels for "切断位置" (cut location) and a section line "1-1". The bottom drawing is a top-down plan view of one unit with dimensions: overall width 440, depth 339, and a central circular opening with a diameter of 215. It also includes labels for "切断位置" and a section line "1-1".

工事名	R2徳土 徳島環状線 徳・昭和 橋梁修繕工事(2)		
路線名等	徳島環状線		
工事箇所	徳島市昭和町8丁目(末広大橋)(第2分割)		
図面名	撤去計画図(その3)		
縮尺	1:50	図面番号	05 / 12
事業者名	徳島県東部県土整備局 徳島庁舎		

※伸縮装置平面図は、過去成果に統一し終点から起点をみた図としている。

仮復旧時受け梁構造図(その1) S=1:30

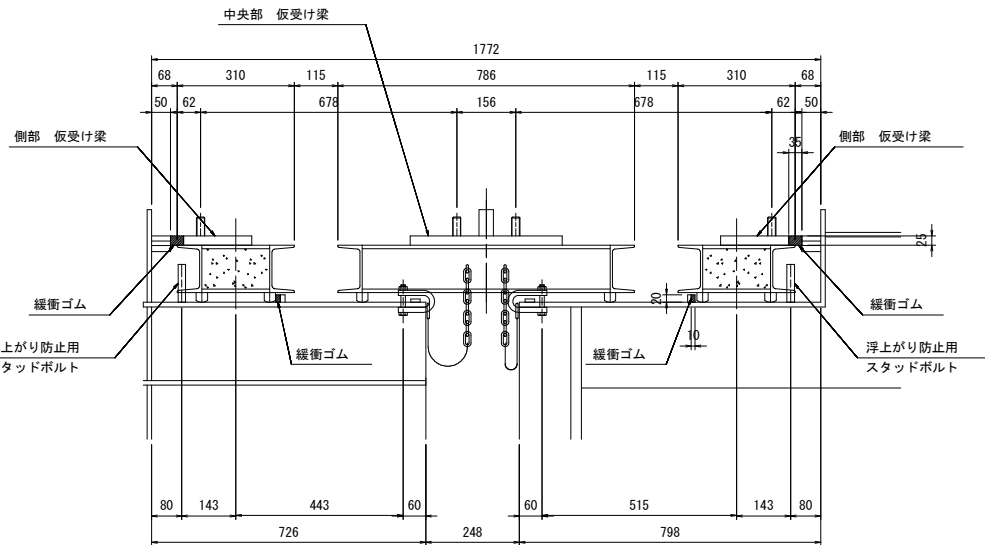
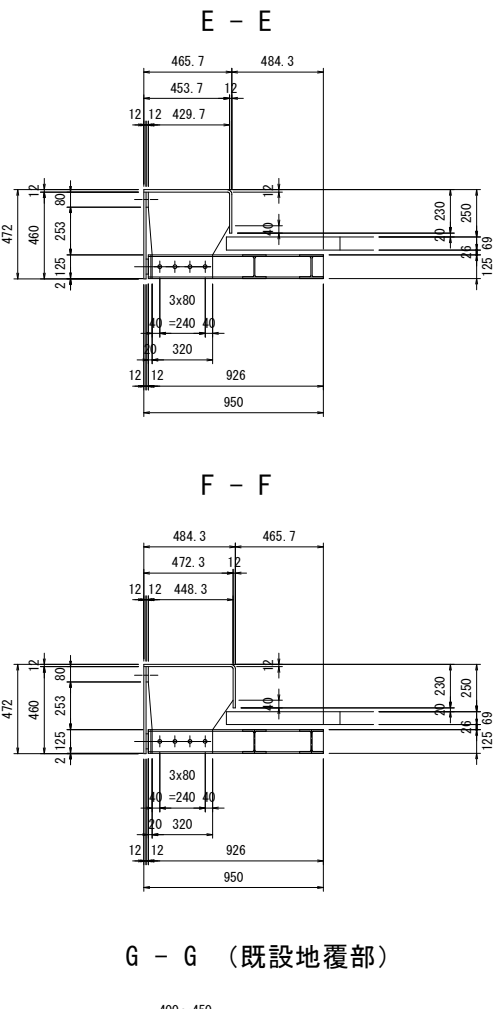
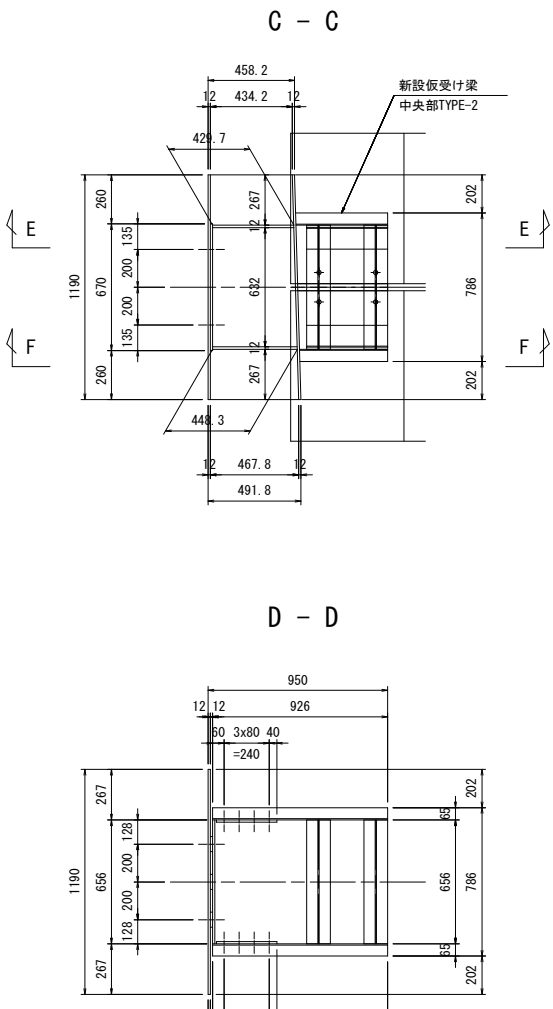
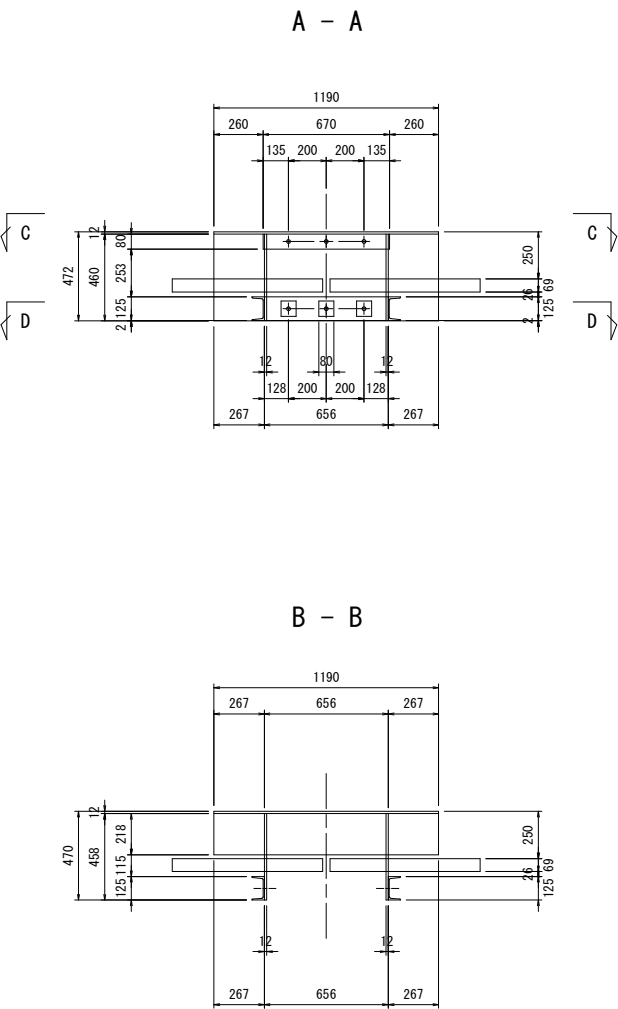
平面図



地覆詳細図 S=1:10

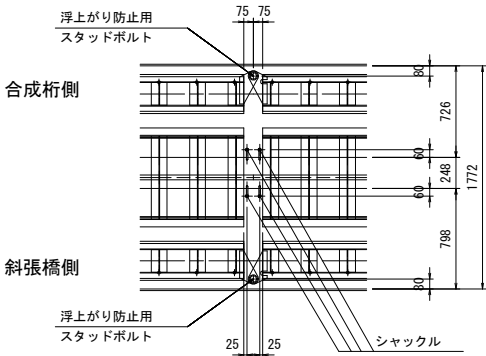
地覆部 一時撤去・復旧

断面図 S=1:10



シャックル取付位置

浮上がり防止用スタッドボルト取付位置



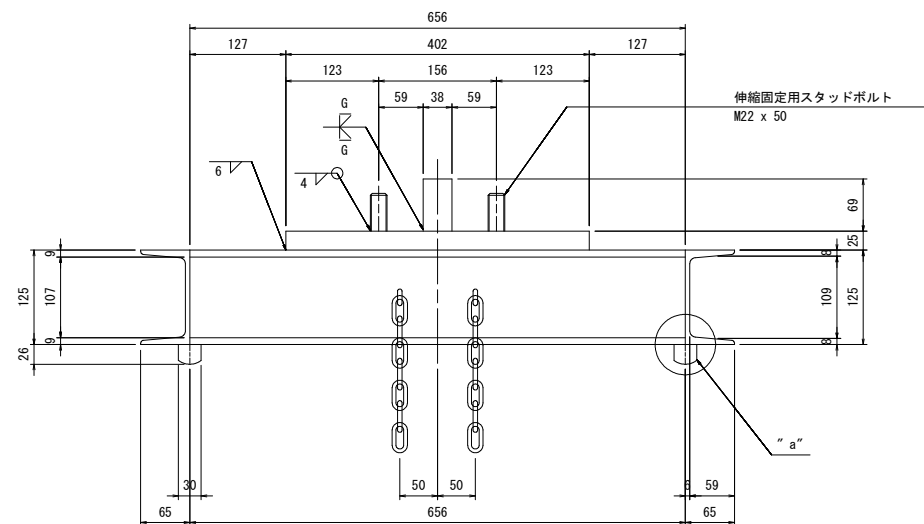
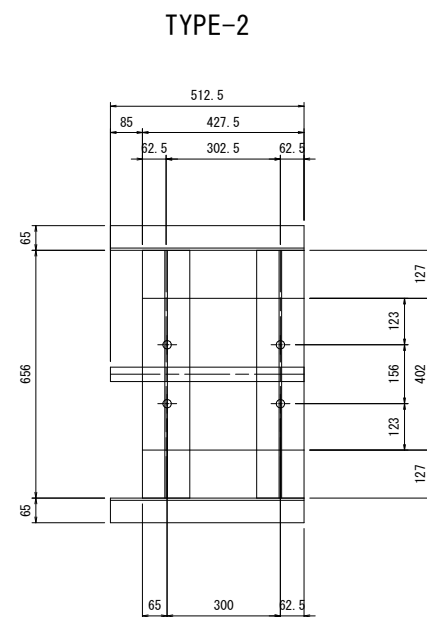
※現地を実測の上製作のこと。
※伸縮装置設置の際には、現地で伸縮装置設置部の厚さを実測の上で設置する。
なお、高さ調整が必要な場合は、伸縮装置の下にゴム板を敷いて調整を行う。
※南行き・北行きをそれぞれ別に工事する場合は、仮受け梁を流用する。

実施設計図面

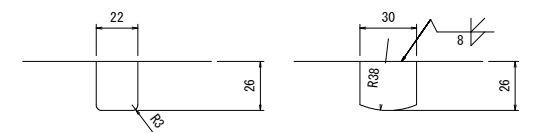
工事名	R2徳士 徳島環状線 徳・昭和 橋梁修繕工事(2)		
路線名等	徳島環状線		
工事箇所	徳島市昭和町8丁目(末広大橋)(第2分割)		
図面名	仮復旧時受け梁構造図(その1)		
縮尺	1:30	図面番号	06 / 12
事業者名	徳島県東部県土整備局 徳島庁舎		

仮受け梁中央部詳細図

断面図 S=1:5



" a" 部詳細 S=1/2



※北行き・南行きで仮受け梁は兼用するものとする。

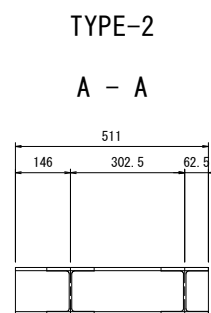
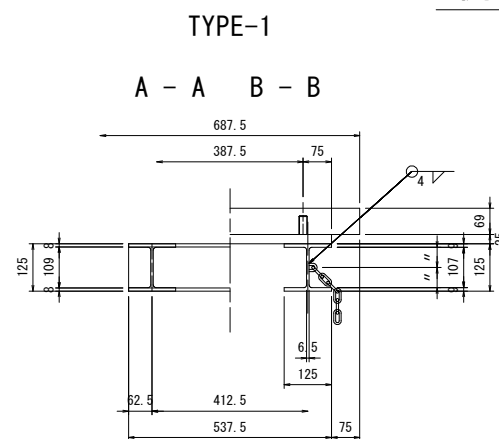
- 中央部TYPE-1
 1組当り
 2-H 125 x 125 x 6.5 x 9 X 656 (SS400)
 2-L 125 x 65 x 6 x 8 X 538 (SS400)
 4-PL 26 x 22 x 30 (SM400A)
 1-PL 69 x 38 x 688 (SM400A)
 1-PL 402 x 25 x 538 (SM400A)
 4-スタッドボルト M22 x 50
 4-チェーン L = 300 mm
 4-シャックル

- 中央部TYPE-2
- 1組当り
- 2-H 125 x 125 x 6.5 x 9 X 656 (SS400)
- 2-L 125 x 65 x 6 x 8 X 513 (SS400)
- 4-PL 26 x 22 x 30 (SM400A)
- 1-PL 69 x 38 x 513 (SM400A)
- 1-PL 402 x 25 x 428 (SM400A)
- 4-スタッドボルト M22 x 50
- 4-チェーン L = 300 mm
- 4-シャックル

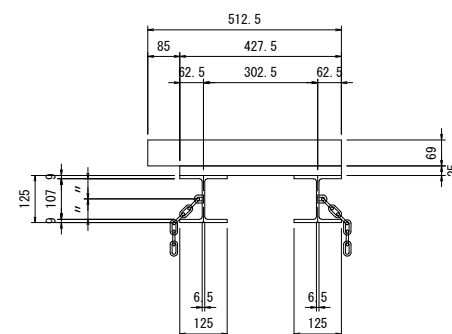
既設受け梁(中央分離帯)

- 1組当り
2-スタッドボルト M22 x 50

側面図

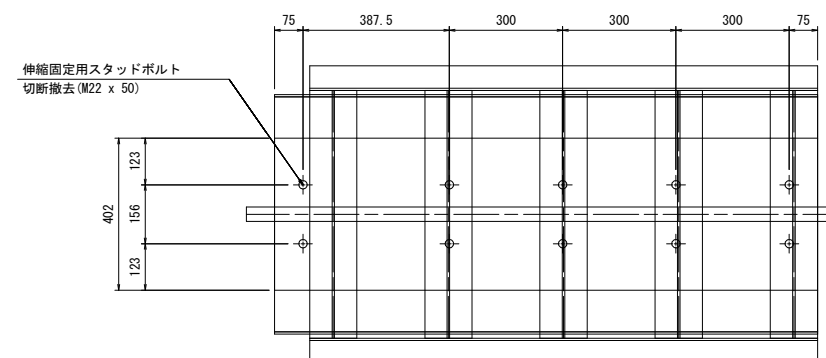


B - B

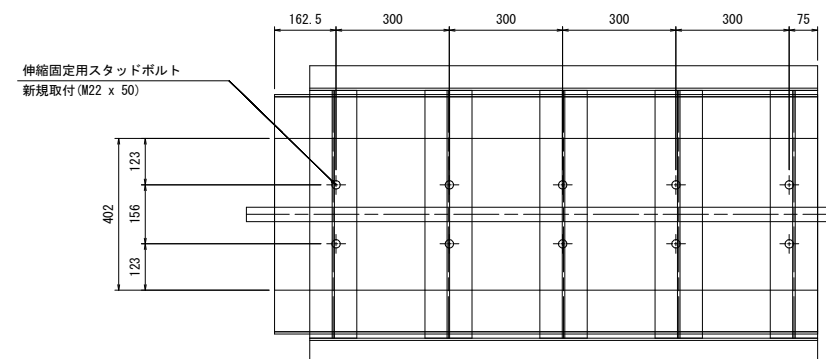


既設受け梁(中央分離帯) 改造詳細

改造前



改造後



※現地を実測の上製作のこと。

※伸縮装置設置の際には、現地で伸縮装置設置部の厚さを実測の上で設置する。
なお、高さ調整が必要な場合は、伸縮装置の下にゴム板を敷いて調整を行う。

※南行き・北行きをそれぞれ別に工事する場合は、仮受け梁を流用する。

実施設計図面

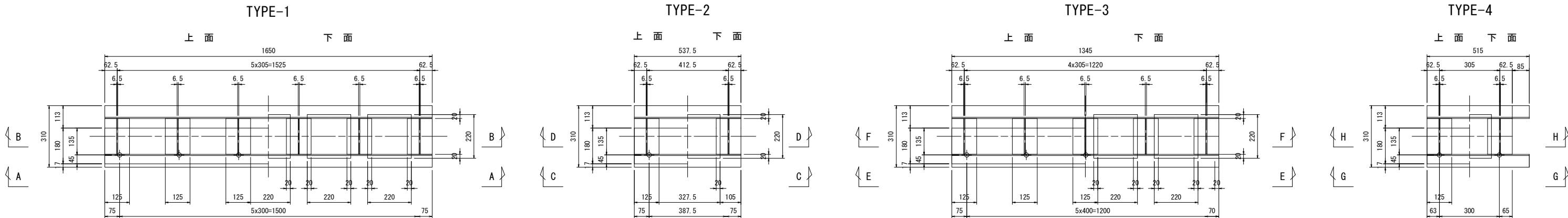
工事名	R2徳土 徳島環状線 徳・昭和 橋梁修繕工事(2)		
路線名等	徳島環状線		
工事箇所	徳島市昭和町8丁目(末広大橋)(第2分割)		
図面名	仮復旧時受け梁構造図(その2)		
縮尺	1:10	図面番号	07 / 12
事業者名	徳島県東部県土整備局 徳島庁舎		

※伸縮装置平面図は、過去成果に統一し終点から起点をみた図としている。

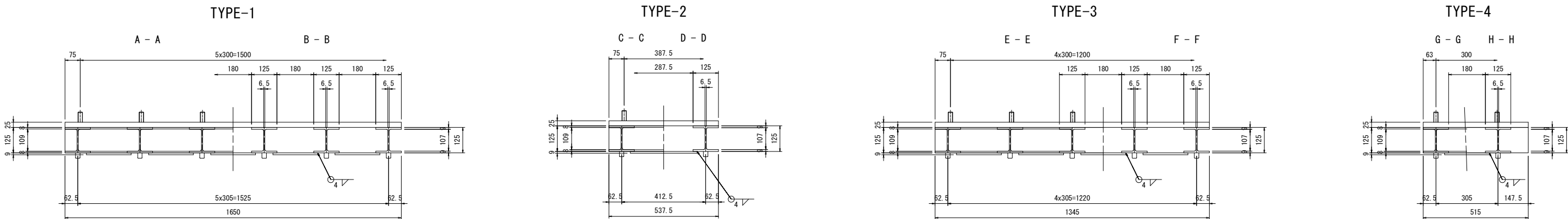
仮復旧時受け梁構造図(その3) S=1:10

仮受け梁側部詳細図

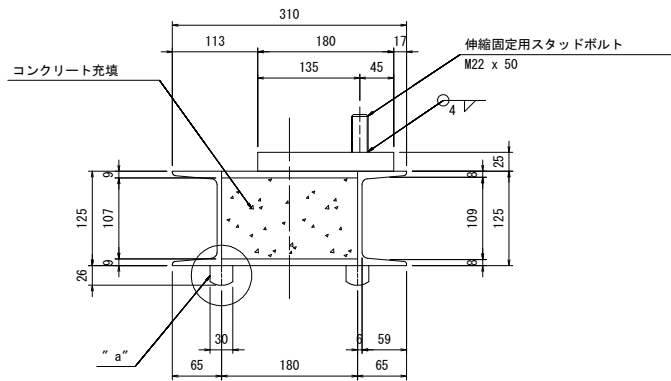
平面図



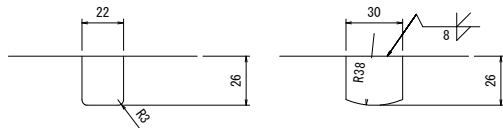
側面図



断面図 S=1:5



“a”部詳細 S=1:2



※北行き・南行きで仮受け梁は兼用するものとする。

側部TYPE-1

1組当り(全6組)

6-H 125 x 125 x 6.5 x 9 X 180 (SS400)

2-L 125 x 65 x 6 x 8 X1650 (SS400)

12-PL 26 x 22 x 30 (SM400A)

1-PL 180 x 25 x1650 (SM400A)

5-PL 220 x 9 x 220 (SM400A)

6-スタッドボルト M22 x 50

1-緩衝ゴム 35 x 25 x1650 (クロロブレンゴム 硬度55° ±5°)

1-緩衝ゴム 20 x 10 x1650 (クロロブレンゴム 硬度55° ±5°)

側部TYPE-2

1組当り(全2組)

2-H 125 x 125 x 6.5 x 9 X 180 (SS400)

2-L 125 x 65 x 6 x 8 X 538 (SS400)

4-PL 26 x 22 x 30 (SM400A)

1-PL 180 x 25 x 538 (SM400A)

1-PL 220 x 9 x 328 (SM400A)

2-スタッドボルト M22 x 50

1-緩衝ゴム 35 x 25 x 538 (クロロブレンゴム 硬度55° ±5°)

1-緩衝ゴム 20 x 10 x 538 (クロロブレンゴム 硬度55° ±5°)

側部TYPE-3

1組当り(全2組)

5-H 125 x 125 x 6.5 x 9 X 180 (SS400)

2-L 125 x 65 x 6 x 8 X1345 (SS400)

10-PL 26 x 22 x 30 (SM400A)

1-PL 180 x 25 x1345 (SM400A)

4-PL 220 x 9 x 220 (SM400A)

5-スタッドボルト M22 x 50

1-緩衝ゴム 35 x 25 x1345 (クロロブレンゴム 硬度55° ±5°)

1-緩衝ゴム 20 x 10 x1345 (クロロブレンゴム 硬度55° ±5°)

側部TYPE-4

1組当り(全2組)

2-H 125 x 125 x 6.5 x 9 X 180 (SS400)

2-L 125 x 65 x 6 x 8 X515 (SS400)

4-PL 26 x 22 x 30 (SM400A)

1-PL 180 x 25 x515 (SM400A)

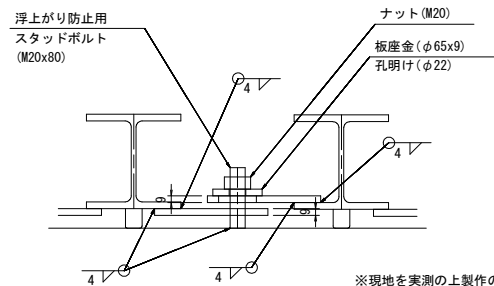
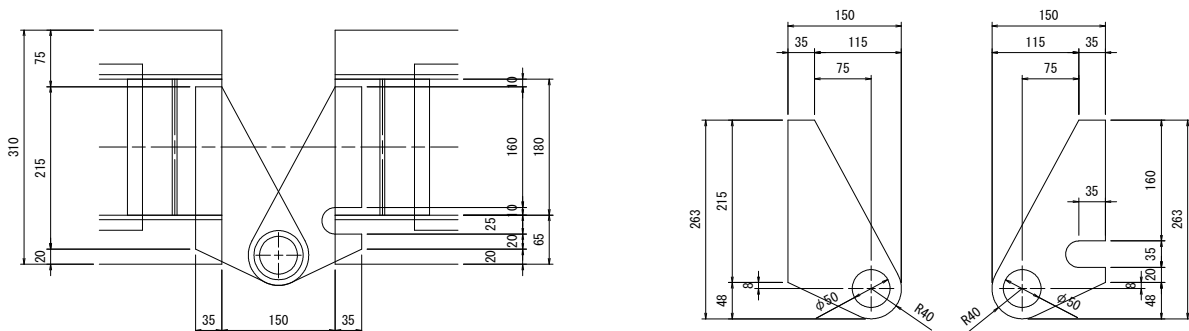
1-PL 220 x 9 x 220 (SM400A)

2-スタッドボルト M22 x 50

1-緩衝ゴム 35 x 25 x515 (クロロブレンゴム 硬度55° ±5°)

1-緩衝ゴム 20 x 10 x515 (クロロブレンゴム 硬度55° ±5°)

浮上がり防止取付詳細図 S=1:5



浮上がり防止

1組当り(全20組)

2-PL 150 x 9 x 263 (SM400A)

1-スタッドボルト M20 x 80

1-NUT M20 (SS400)

1-PL φ65 x 9 (SS400)

※現地を実測の上製作のこと。

※伸縮装置設置の際には、現地で伸縮装置設置部の厚さを実測の上で設置する。
なお、高さ調整が必要な場合は、伸縮装置の下にゴム板を敷いて調整を行う。

※南行き・北行きをそれぞれ別に工事する場合は、仮受け梁を流用する。

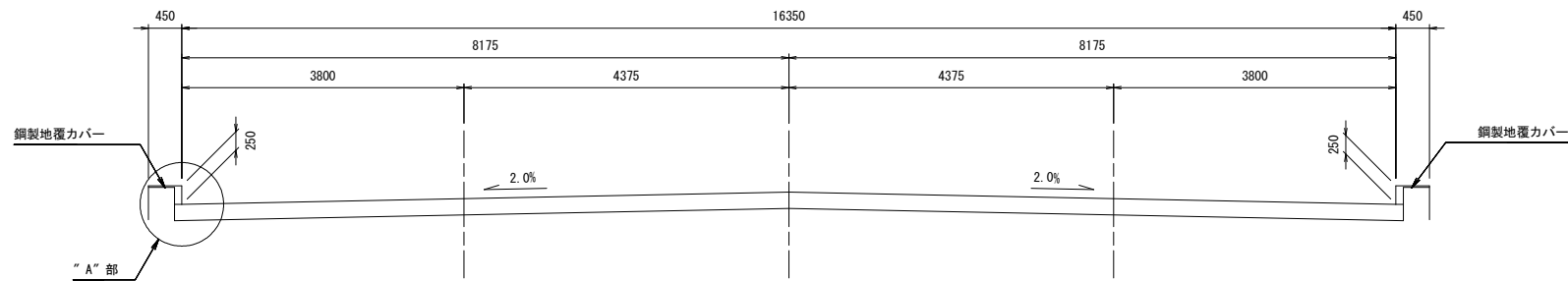
実施設計図面

工事名	R2徳島 徳島環状線 徳・昭和 橋梁修繕工事(2)		
路線名等	徳島環状線		
工事箇所	徳島市昭和町8丁目(末広大橋)(第2分割)		
図面名	仮復旧時受け梁構造図(その3)		
縮尺	1:10	図面番号	08 / 12
事業者名	徳島県東部県土整備局 徳島庁舎		

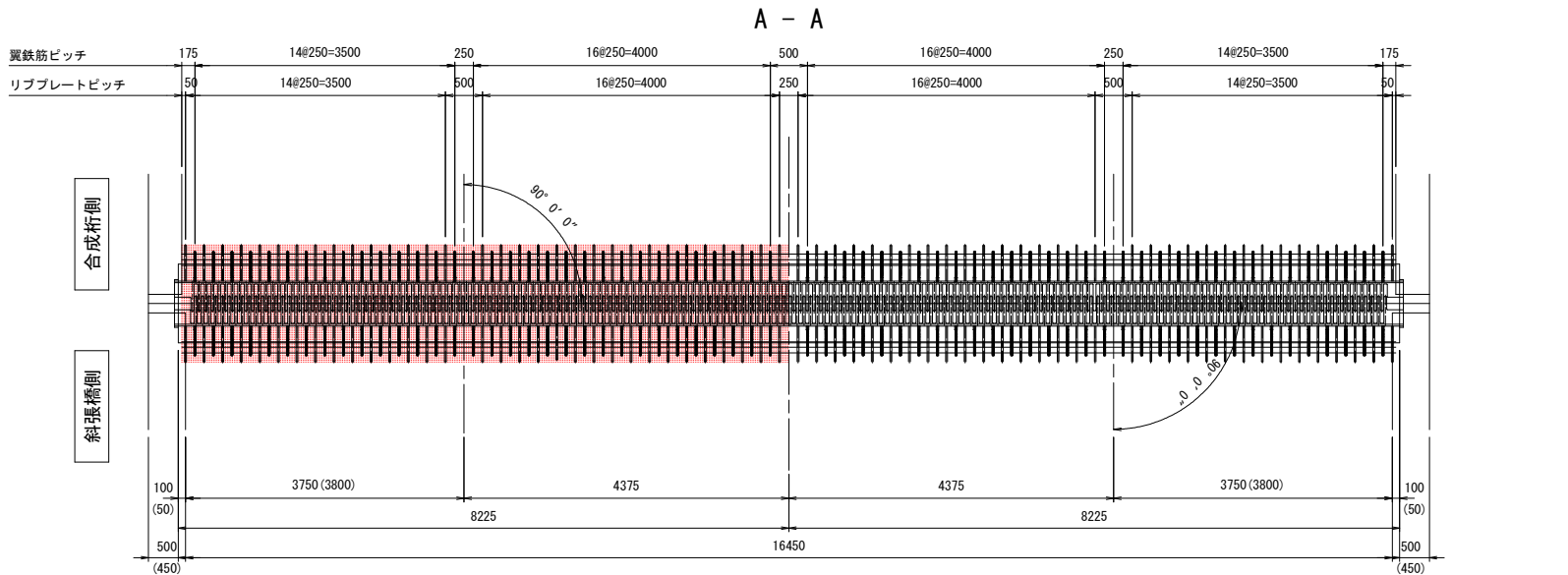
※伸縮装置平面図は、過去成果に統一し終点から起点をみた図としている。

伸縮装置構造図 S=1:50

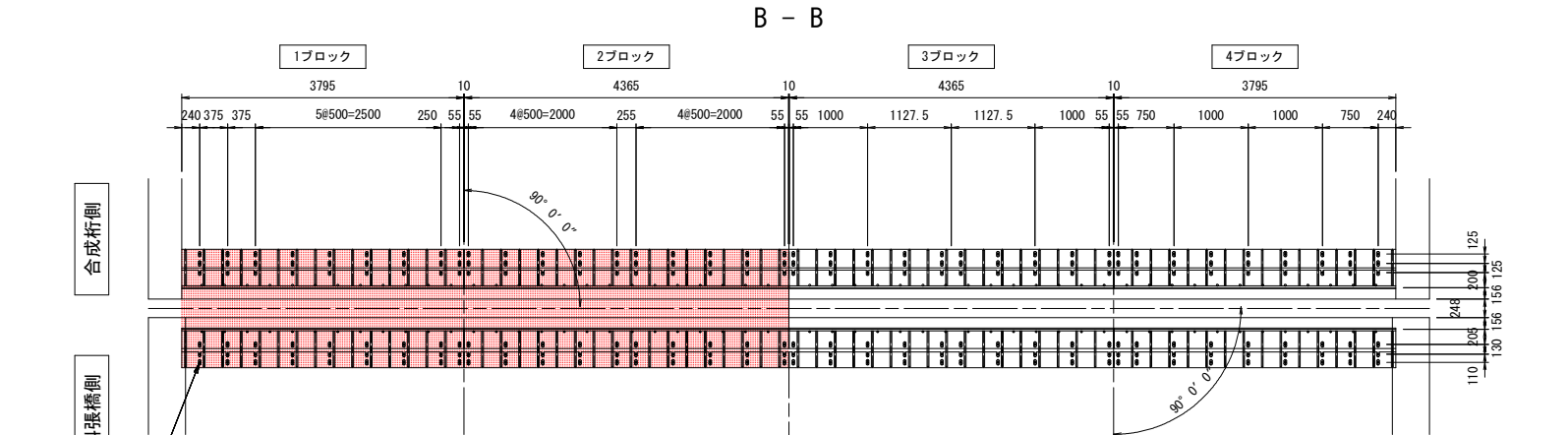
断面図



平面図



平面図



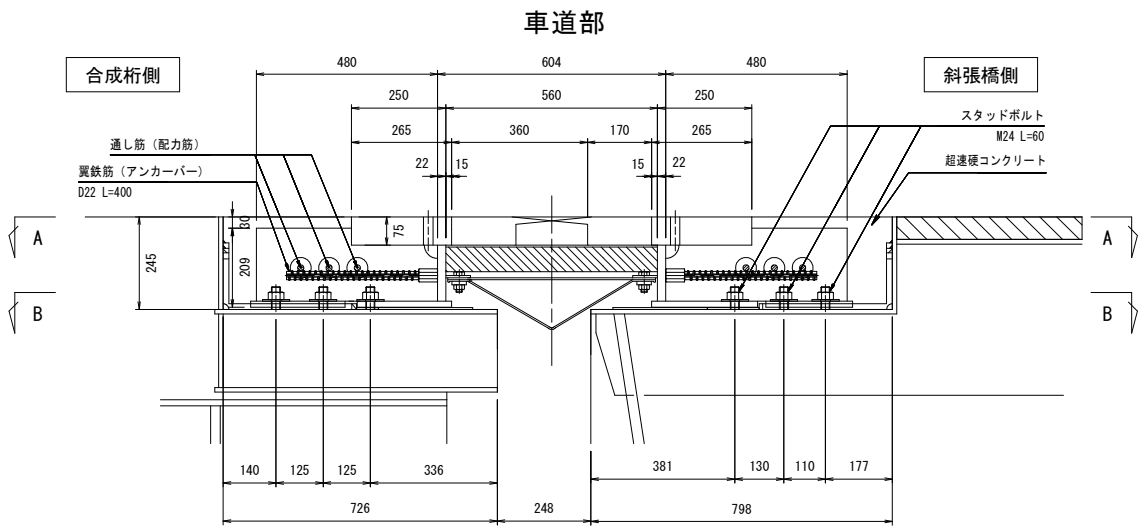
注1) スタッドボルトは伸縮装置長穴箇所に合わせて、既設溶接プレートが無い箇所に設置のこと。
注2) スタッドボルトは伸縮装置1ブロック毎に片側6列で18本(合計36本)以上を設置・固定すること。
ただし、可能な限り偏りの無きよう等間隔に配置すること。

伸縮継手材料表

名 称	材 質	数 量	備 考
伸縮装置 (伸縮量310mm)	SS400 合成ゴム 弾性シール材 S304S	16.450 m	車道用、通し筋を含む
遮水エッジ		2ヶ所	
超速硬コンクリート		6.142 m ³	地覆コンクリート含まず
スタッドボルト M24 L=60		144本	ナット・大型丸ワッシャー付
カバープレート	SUS304	180kg	地覆部
コンクリートアンカー M12	"	12本	カバープレート固定用
ボルト・ナット・ワッシャー M16	"	4組	カバースライド部 ダブルナット仕様

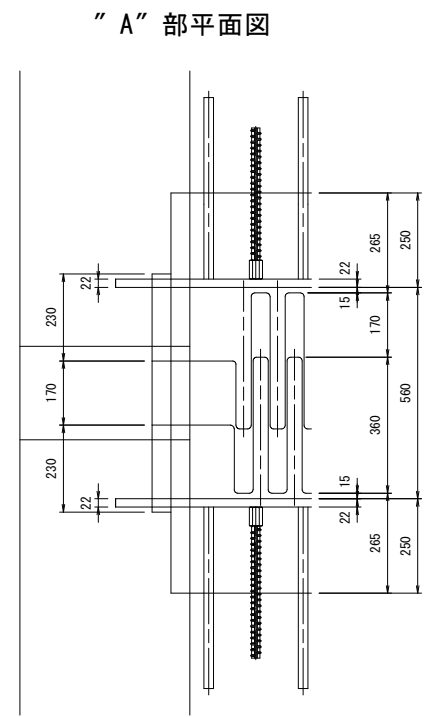
注1) 伸縮継手長さは現地測量後決定する事。
注2) 伸縮装置断面形状及び遮水エッジ形状等は現地測量結果を反映させて適宜形状を変更すること。
注2) カバープレート形状は現地測量後決定する事。合成桁側の地覆は角度がついているため注意すること。
注3) スタッドボルトは既設溶接プレートを避けて設置すること。
注4) 地覆コンクリートの数量は現地測量後に決定すること。

側面図 S=1:10

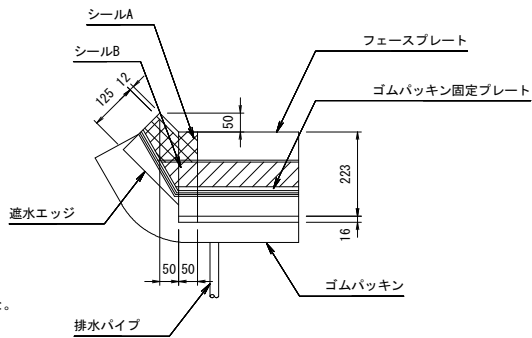


※不陸調整はフィラープレートにて行うこと。
※既設のフィラープレートにより隙間が生じるような場合は、エポキシ樹脂やパテにより隙間を充填すること。

端部立上げ詳細図 S=1:10

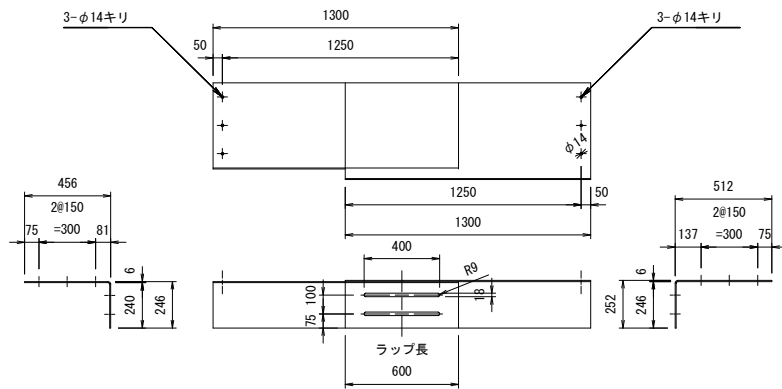


"A"部断面図

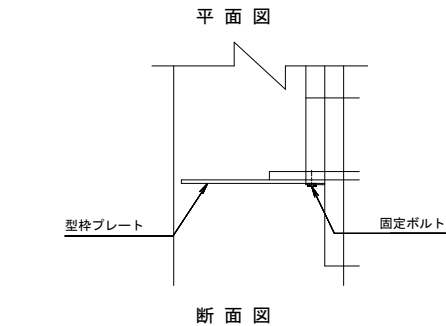


※地覆部構造は現地測量後に決定し、適した構造および工法とすること。

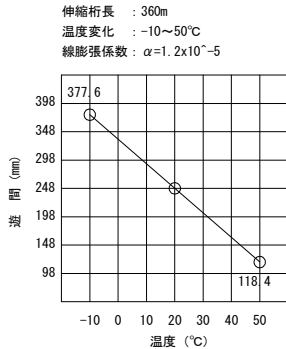
カバープレート S=1:20



地覆コンクリート型枠 (参考図)



温度-遊間グラフ



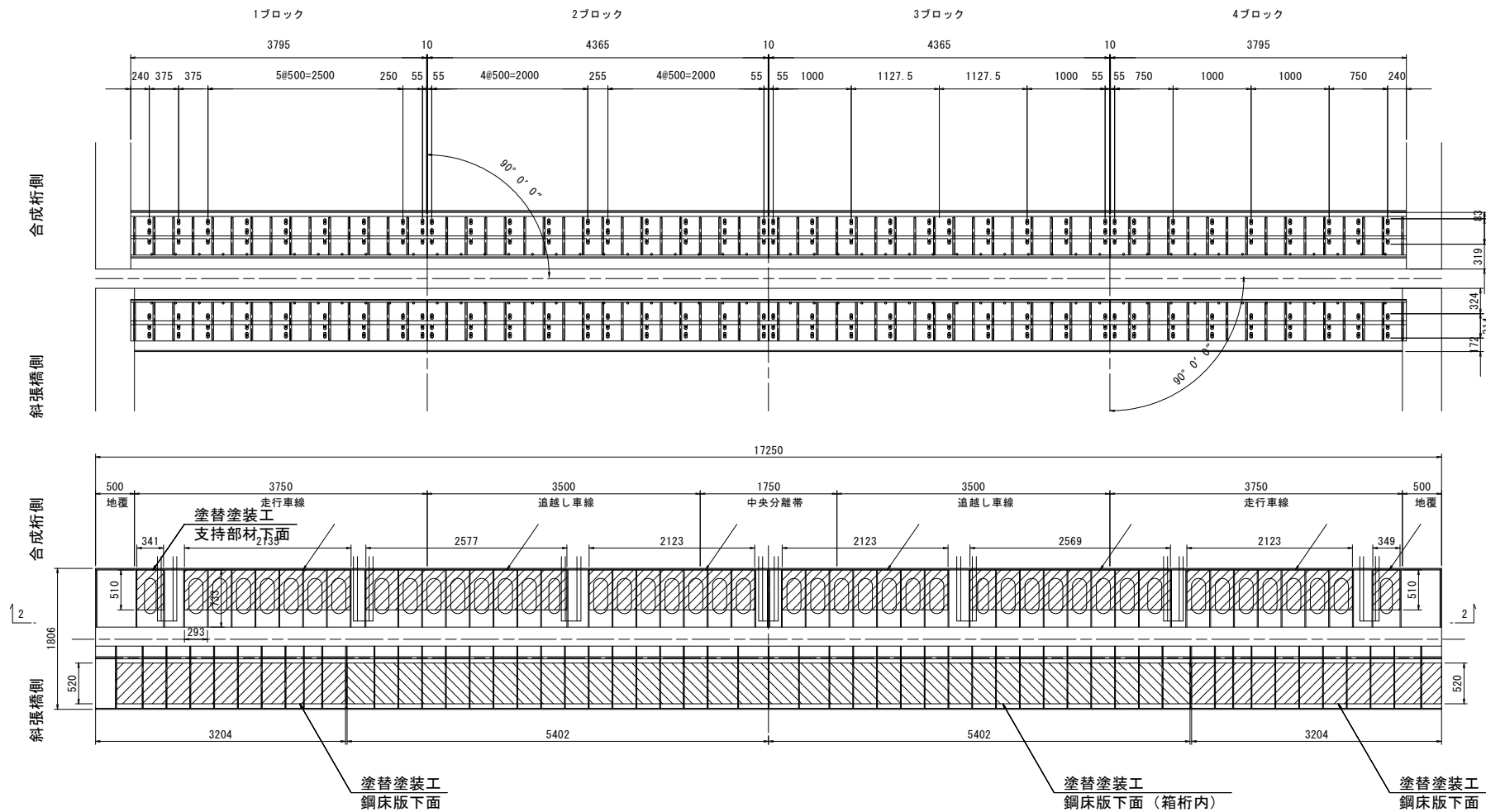
実施設計図面

工事名	R2徳士 徳島環状線 徳・昭和 橋梁修繕工事(2)
路線名等	徳島環状線
工事箇所	徳島市昭和町8丁目(末広大橋) (第2分割)
図面名	伸縮装置構造図
縮尺	1:50 図面番号 09 / 12
事業者名	徳島県東部県土整備局 徳島庁舎

※伸縮装置平面図は、過去成果に統一し終点から起点をみた図としている。

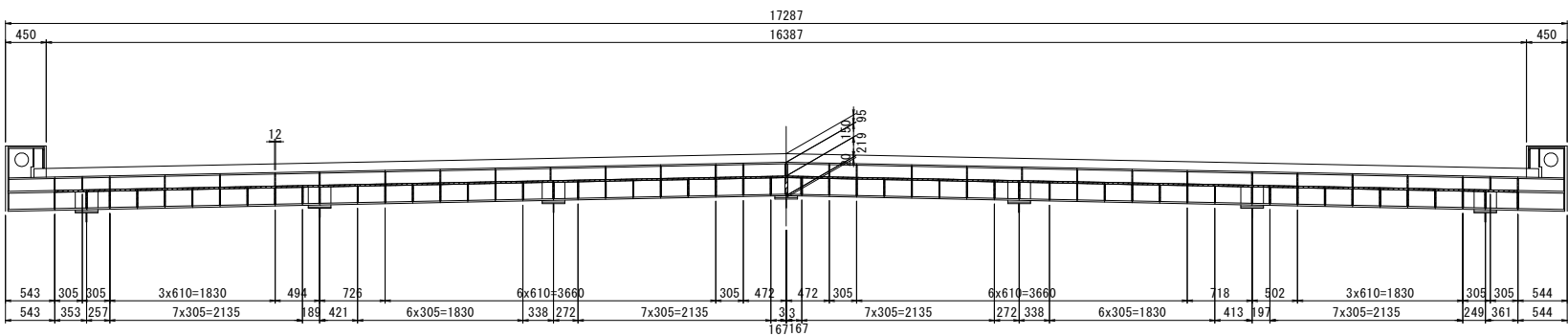
塗装計画図 S=1:40

平面図

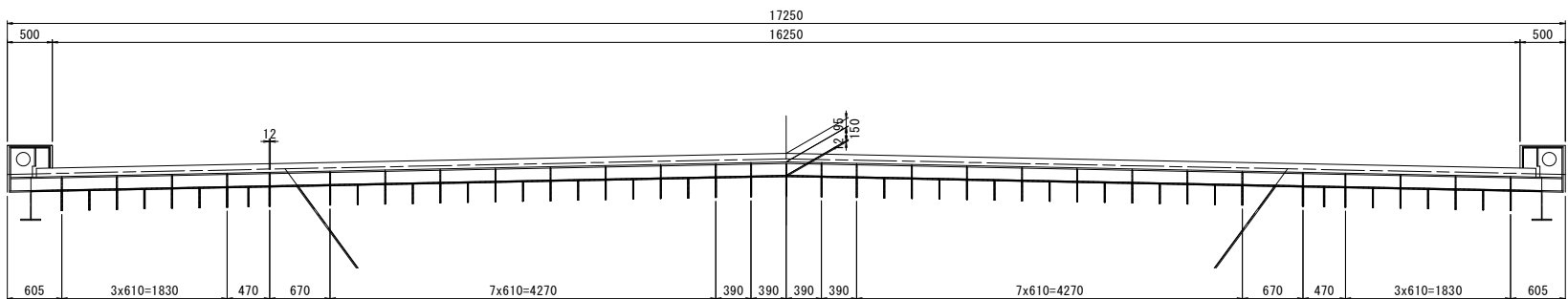


断面図

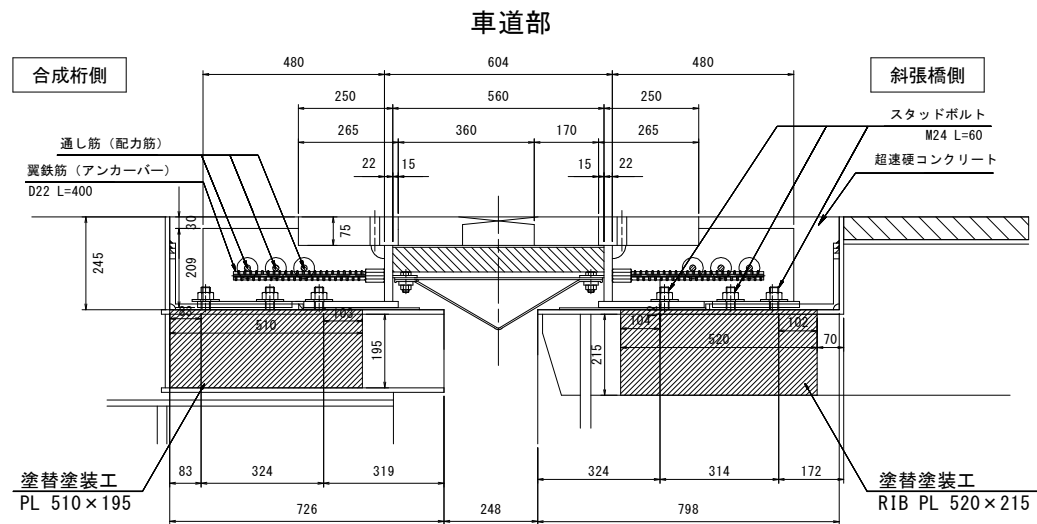
合成桁側



斜張橋側



側面図 S=1:10



※斜張橋の箱桁内部及び、合成桁側支持部材のスタッド溶接位置から100mmの範囲は、溶接の熱影響が懸念されるため、部分塗替塗装を行う計画とする。

塗装仕様

表-11.4.4 溶接部の塗装仕様 F13 (一般塗装系C-5)

塗装工程	塗料名	使用量 (g/m ²)	目標膜厚 (μm)	塗装間隔
現場	素地調整	プラスト処理 ISO Sa 2 1/2		4時間以内
	防食下地	有機ジンクリッチペイント	スプレー (はけ・ローラー) 600 (300×2) 75	
	下塗り	変性エポキシ樹脂塗料下塗	スプレー (はけ・ローラー) 240 (200) 60	1日～10日
	下塗り	変性エポキシ樹脂塗料下塗	スプレー (はけ・ローラー) 240 (200) 60	1日～10日
	中塗り	ふっ素樹脂塗料用中塗	スプレー (はけ・ローラー) 170 (140) 30	1日～10日
	上塗り	ふっ素樹脂塗料上塗	スプレー (はけ・ローラー) 140 (120) 25	1日～10日

注) 1：塗料使用量：スプレーとし、(***) ははけ・ローラー塗りの場合を示す。

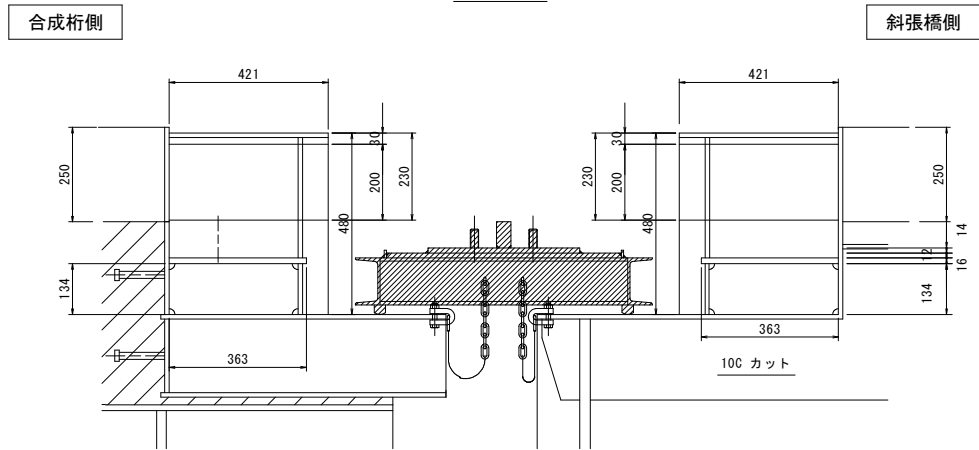
実施設計図面

工事名	R2徳士 徳島環状線 徳・昭和 橋梁修繕工事(2)		
路線名等	徳島環状線		
工事箇所	徳島市昭和町8丁目(末広大橋) (第2分割)		
図面名	塗装計画図		
縮尺	1:40	図面番号	10 / 12
事業者名	徳島県東部県土整備局 徳島庁舎		

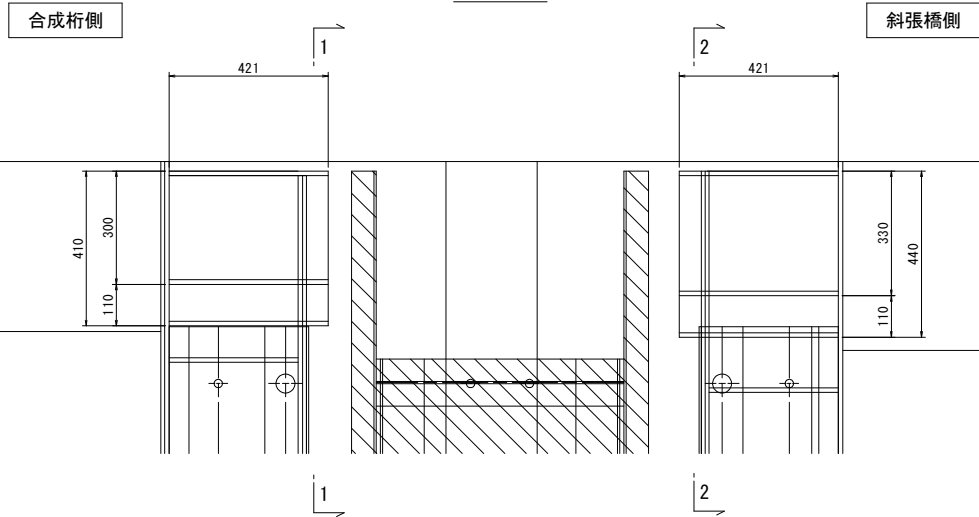
地覆構造図 S=1:10

補修前

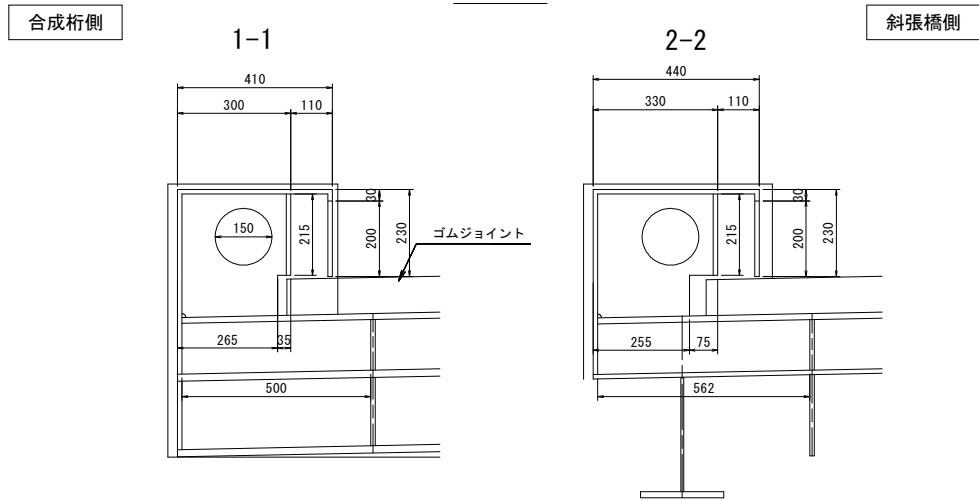
側面図



平面図

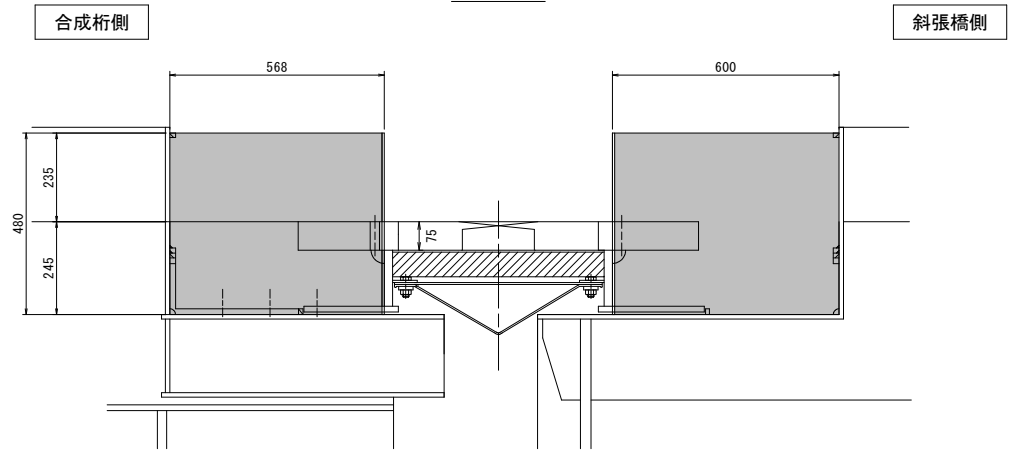


断面図

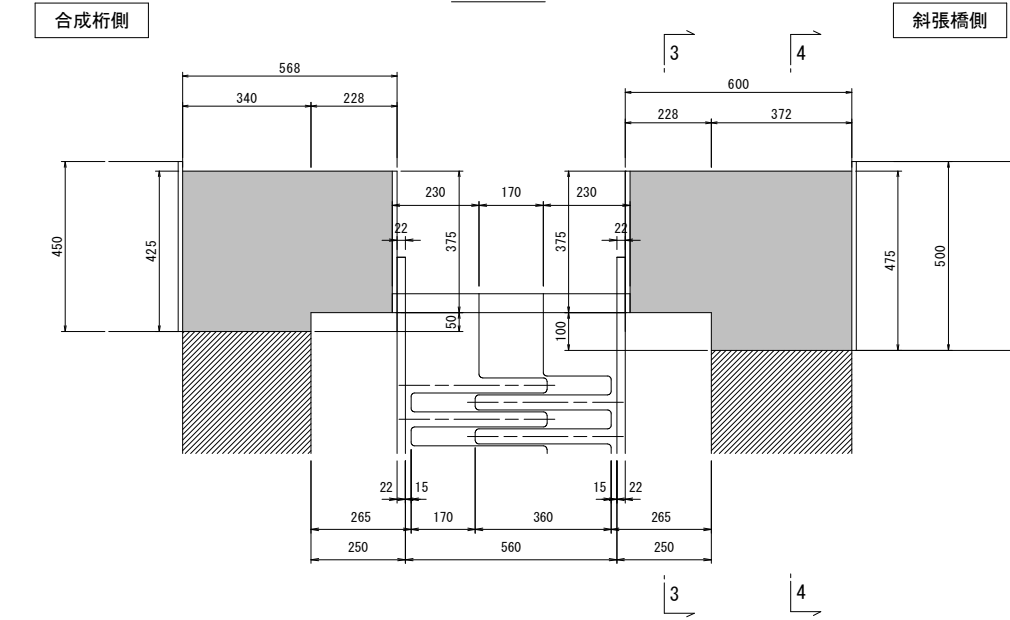


補修後

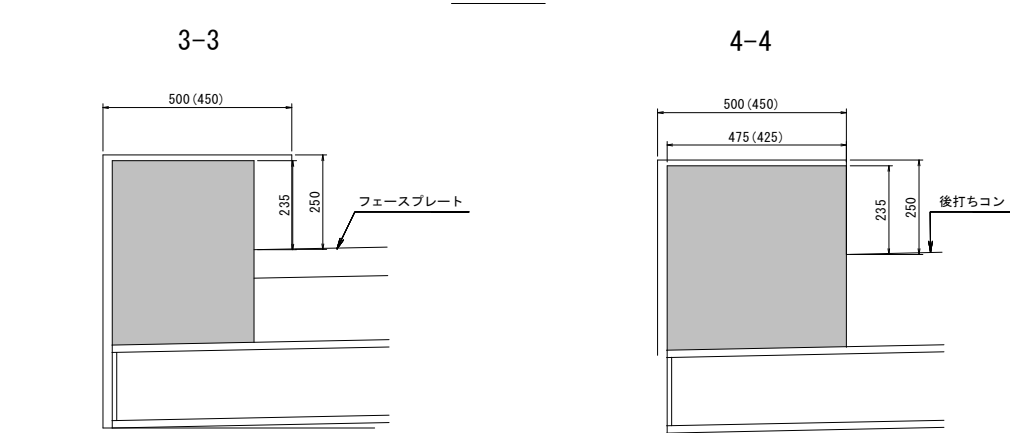
側面図



平面図



断面図



・地覆部のコンクリートは伸縮装置の後打ちコンクリートと同時の打設を想定している。
・地覆部の型枠設置や配筋等は切断作業と並行して行うものとする。

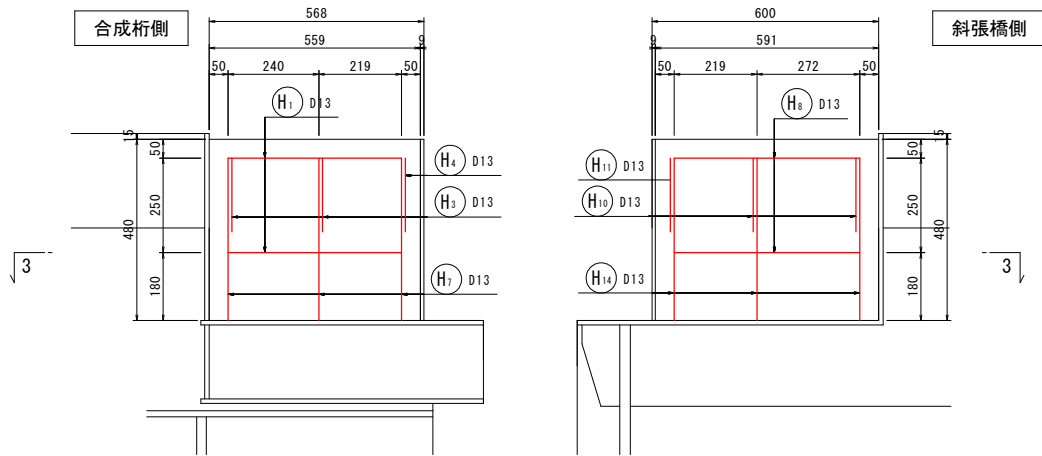
※ () 内の寸法は合成桁側を示す。

実施設計図面

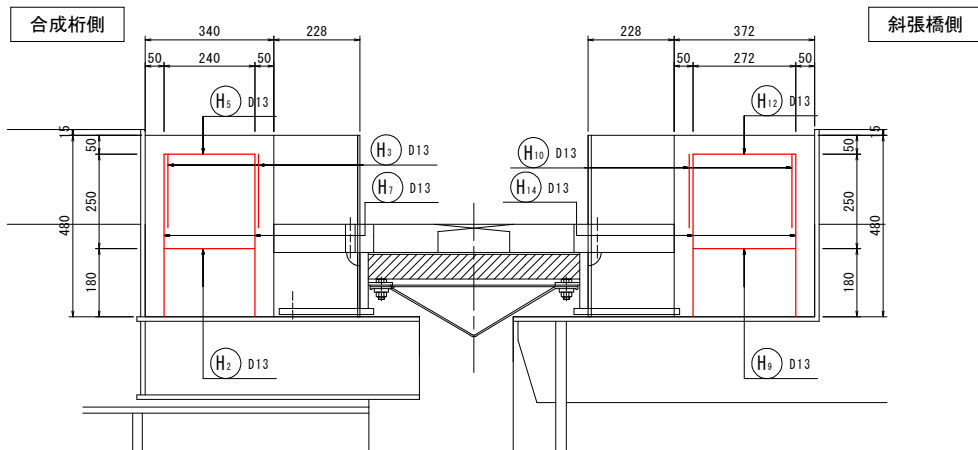
工事名	R2徳土 徳島環状線 徳・昭和 橋梁修繕工事(2)		
路線名等	徳島環状線		
工事箇所	徳島市昭和町8丁目(末広大橋)(第2分割)		
図面名	地覆構造図		
縮尺	1:10	図面番号	11 / 12
事業者名	徳島県東部県土整備局 徳島庁舎		

地覆配筋図 S=1:10

側面図
1-1

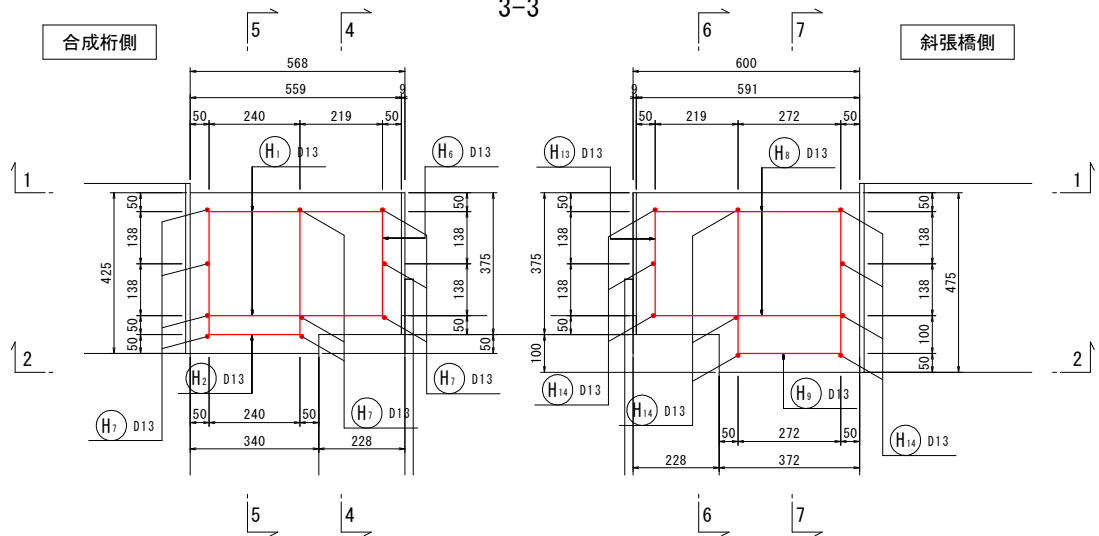


側面図
2-2



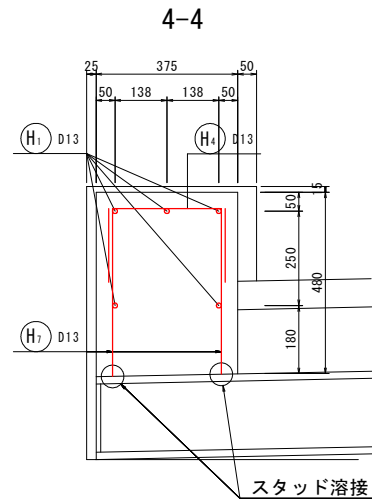
平面图

3-3

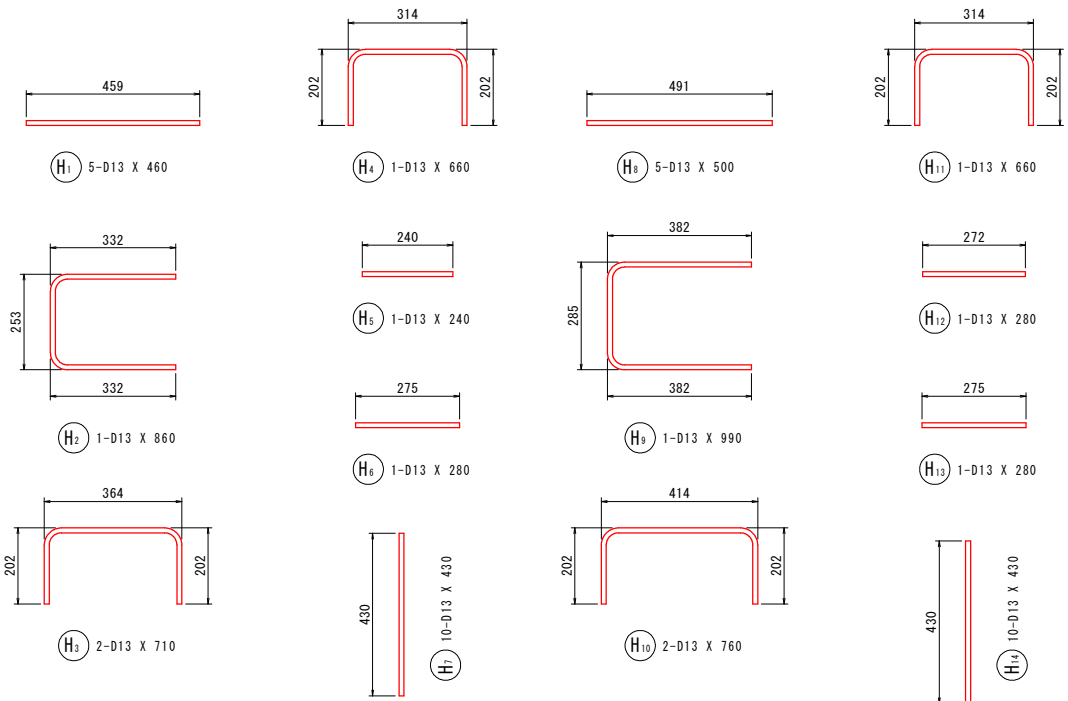
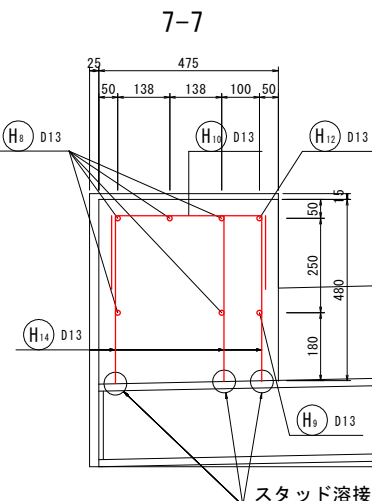
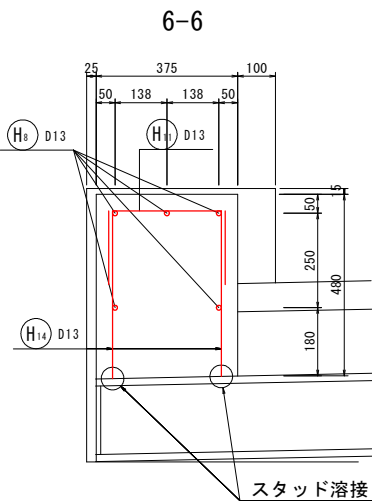
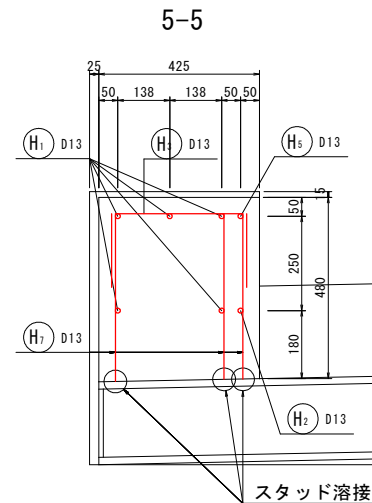


断面区

合成桁



断面区
斜張橋



鉄筋質量表 (SD345)

[illegible]

※鉄筋の定着はスタッド溶接を想定している

実施設計図面

工事名	R2徳士 徳島環状線 徳・昭和 橋梁修繕工事(2)		
路線名等	徳島環状線		
工事箇所	徳島市昭和町8丁目(末広大橋)(第2分割)		
図面名	地覆配筋図		
縮尺	1:10	図面番号	12 / 12
事業者名	徳島県東部県土整備局 徳島庁舎		